

若者の地方体験交流の ご案内（2015年度版）



地域づくり

田舎ぐらし

仕事体験

おいしい空気、きれいな水

第2のふるさとづくり

国土交通省 国土政策局 地方振興課

国交省HPはこちら→



URL: http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

応募上の注意 ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。問い合わせ先は、募集要項にあります。必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

- | | | | |
|--------|-------------|--------|-------------|
| No. 1 | 北海道ニセコ町 | No. 35 | 福井県越前市 |
| No. 2 | 北海道浦河町 | No. 36 | 長野県小海町 |
| No. 3 | 北海道当麻町 | No. 37 | 長野県飯島町 |
| No. 4 | 北海道遠別町 | No. 38 | 岐阜県御嵩町 |
| No. 5 | 北海道置戸町 | No. 39 | 静岡県御殿場市（1） |
| No. 6 | 岩手県釜石市 | No. 40 | 静岡県御殿場市（2） |
| No. 7 | 岩手県久慈市 | No. 41 | 静岡県御殿場市（3） |
| No. 8 | 宮城県栗原市 | No. 42 | 滋賀県栗東市 |
| No. 9 | 秋田県鹿角市（※） | No. 43 | 京都府綾部市 |
| No. 10 | 山形県小国町 | No. 44 | 兵庫県洲本市 |
| No. 11 | 福島県会津若松市（※） | No. 45 | 奈良県下市町 |
| No. 12 | 福島県川俣町 | No. 46 | 奈良県川上村 |
| No. 13 | 福島県猪苗代町 | No. 47 | 和歌山県田辺市（1） |
| No. 14 | 福島県金山町 | No. 48 | 和歌山県田辺市（2） |
| No. 15 | 福島県石川町 | No. 49 | 和歌山県紀美野町（1） |
| No. 16 | 福島県西郷村 | No. 50 | 和歌山県紀美野町（2） |
| No. 17 | 栃木県矢板市（1） | No. 51 | 和歌山県日高川町 |
| No. 18 | 栃木県矢板市（2） | No. 52 | 広島県江田島市 |
| No. 19 | 群馬県桐生市 | No. 53 | 山口県岩国市 |
| No. 20 | 新潟県三条市（1） | No. 54 | 山口県長門市 |
| No. 21 | 新潟県三条市（2） | No. 55 | 山口県周防大島町 |
| No. 22 | 新潟県三条市（3） | No. 56 | 徳島県美波町 |
| No. 23 | 新潟県三条市（4） | No. 57 | 愛媛県宇和島市（1） |
| No. 24 | 新潟県十日町市 | No. 58 | 愛媛県宇和島市（2） |
| No. 25 | 新潟県妙高市（※） | No. 59 | 高知県四万十市 |
| No. 26 | 新潟県上越市（1） | No. 60 | 福岡県柳川市 |
| No. 27 | 新潟県上越市（2） | No. 61 | 長崎県対馬市 |
| No. 28 | 新潟県粟島浦村 | No. 62 | 熊本県宇城市（1） |
| No. 29 | 富山県高岡市（1） | No. 63 | 熊本県宇城市（2） |
| No. 30 | 富山県高岡市（2） | No. 64 | 熊本県宇城市（3） |
| No. 31 | 富山県高岡市（3） | No. 65 | 熊本県錦町（※） |
| No. 32 | 富山県氷見市 | No. 66 | 大分県大分市 |
| No. 33 | 福井県福井市 | No. 67 | 鹿児島県出水市 |
| No. 34 | 福井県鯖江市 | | |

注 参加申込書は最終ページにあります。なお、上記で（※）がある市町は指定の参加申込書で応募してください。

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 : ^{ほっかいどう}北海道^{ちょう}ニセコ町 (人口: 4, 983人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR函館本線 ニセコ駅 札幌駅から約160分	※いずれも本数が少ないので注意してください
都市間バス 札幌から約170分	

(2) 事業実施の目的等

「さまざまなまちや人々との連携」を主旨に、全国各地から大学生を受入れ、町民・職員との交流や意見交換の中から、まちづくりのヒントや情報を得たい。

(3) 体験の内容

- ・自主的なテーマ設定のもとでの地域調査及びまちづくりへの提言
 - ・地域イベント（神社祭りなど）への参加と協力
 - ・農作業体験
- など

(4) 受入主体

ニセコ町	(5) 受入期間 期間指定2週間（8月中旬～下旬を予定） 詳しくはお問い合わせください。
------	----------------------------------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：本人負担 宿泊費：半額程度助成 食事代：本人負担
①要件	地方での活動・地域づくりに関心があり、自主的に取り組むことができる意欲と行動力のある学生
②応募締切り	お問合せください
③宿泊施設	町内宿泊施設（ペンションなど）を紹介予定
④食事形態	町からの提供なし。宿泊施設に依頼可（本人負担）
⑤その他	汚れてもいい服装、長靴を用意してください 自転車の貸出あり

(7) 地域担当者から一言

ニセコ町では、町の独自事業としてインターンシップを実施しています。期間の指定など条件はありますが、意欲のある学生の来町をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 ニセコ町	担当部署 企画環境課経営企画係
(ふりがな) やもと 担当者氏名 矢元 あみ	TEL : 0136-44-2121 (代表) FAX : 0136-44-3500
E-mail : kikaku@town.niseko.lg.jp	
URL : http://www.town.niseko.lg.jp/	
応募宛先 〒048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見47番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ほっかいどううらかわちょう
No.-2 : 北海道浦河町 (人口: 13, 289人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

《道南バス》

新千歳空港～浦河町役場前下車 (約3時間35分: 片道2, 620円)

札幌駅～浦河町役場前下車 (約3時間15分: 片道2, 930円)

(2) 事業実施の目的等

浦河町では都会に住む人達のスキルや想いと、浦河に住む人々や自然といった地域資源をマッチングし、新たなライフスタイル・ワークスタイルの実現を目指しています。

北海道内では移住先や二地域居住先として人気がある浦河町。

今まではシニア層が主なターゲットだった移住プログラムですが、「地方で何かに挑戦してみたい人」「地域の人とコラボして新しいライフスタイル・ワークスタイルを実践したい人」を対象にしたプログラムも注目を集めはじめています。

今年度も都会で行っている研究や仕事を田舎で取り組んでもらう「テレワークプログラム」や地方の仕事を体験してもらうインターンシッププログラムなどを開催する予定です。

・参考 URL

浦河町移住ポータル

http://inspot.jp/urakawa_i_ju/

浦河町地域おこし協力隊 Facebook ページ

<http://www.facebook.com/urakawa.chiikiokoshi>

(3) 体験の内容

【開催予定プログラム】

- ・体験移住住宅・シェアハウス (H27 年開設予定) における快適な中・短期滞在
 - ・研究やフィールドワークなどを目的とした中・短期滞在支援
 - ・場所にとらわれない仕事を地方に持ち込み取り組む、テレワーク支援
 - ・地方での就労・起業に興味を持つ若者向けの就労体験プログラム・ツアー
- ※各プログラム・ツアー等の詳細は決定次第、浦河町公式 HP にて告知します。
興味・関心のある方は事前にお問い合わせいただいても構いません。

※過去の取組は以下をご覧ください。(参加者の声も掲載。)

浦河町移住ポータル 平成 26 年度テレワークプログラム募集ページ

http://inspot.jp/urakawa_i_ju/pages/1866

(4) 受入主体

浦河町
地域連携会議リバイタライズ浦河

(5) 受入期間

11月頃～2月頃
※詳しい日程は決まり次第、
浦河町公式ホームページで発表します。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 未定 宿泊費: 未定 食事代: 本人負担
① 要件	<ul style="list-style-type: none">・地方での就労や起業、商品開発といったことに興味・関心のある方、持っているかた方・研究や論文執筆、フィールドワーク等を目的とした大学生・院生、研究者の方・プログラマー、デザイナーなど場所を問わず仕事ができる事業者の方・遠隔地業務を検討している企業・企業にお勤めの方

②応募締切り	※後日、浦河町公式ホームページで告知します。 http://www.town.urakawa.hokkaido.jp/ ※興味・関心のある方は事前にお問い合わせいただいても構いません。
③宿泊施設	うらかわ暮らし体験住宅、若しくはシェアハウス。
④食事形態	基本的には滞在住宅での自炊となります。
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

様々な取り組みが動きはじめている浦河町。「地方で新しいことに取り組んでみたい」「いずれは地方に住んでみたい、働きたい」という方に向けた各種プログラム・ツアーを開催予定です。是非、ご参加ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 浦河町	担当部署 企画課 移住交流推進室 移住促進係
(ふりがな) 担当者氏名 荒木 麻里 (あらか まり)	TEL : 0146-26-9013 (直通) FAX : 0146-22-1240
E-mail : ijuturn@town.urakawa.hokkaido.jp	
URL : https://www.town.urakawa.hokkaido.jp/	
応募宛先 〒057-8511 北海道浦河郡浦河町築地1丁目3番1 浦河町役場企画課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-3 : 北海道当麻町 (人口: 6, 821 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

受け入れ主体の当麻町(農林課)庁舎所在地まで、旭川空港から自家用車で30分、または、JR石北線当麻駅下車徒歩1分

(2) 事業実施の目的等

北海道のど真ん中、大雪山の麓に広がるこの当麻町の各所で行われる、人と仕事と風土を知るための体験活動から、この町ならではの魅力を感じ取っていただき、その魅力を生かした新たな地域づくりとは何か、この町の生活者とは異なる視点・見方で発見していただき、今後のまちづくりの一案とさせていただきますことを期待しています。

また、貴重なこの経験から、当麻町が皆さんの第2のふるさとになることを念願しています。

(3) 体験の内容

農業体験・・・北海道一の米産地であるとともに、「でんすけすいか」などの施設野菜や花の栽培が盛んな当麻町の基幹産業である農業について、野菜の栽培から出荷まで農家が行う一連の作業を体験します。

福祉体験・・・国内におけるノーマライゼーション運動を牽引する社会福祉法人当麻かたるべの森が所有する22畝の癒しの森「かたるべの森」にて、同法人のアウトドア事業セクションの補助スタッフとして、知的ハンディを持つ同森利用者の支援に当たります。

資源調査・・・上記体験分野をはじめ、環境・観光等あらゆる資源のまちづくり案を町職員と検討します。また、単一の町だけに止まらない広域的な地域づくりを検討する観点から、近郊の観光地への訪問、または、大雪山トレッキングを行う等して広域的な観光資源や自然資源、さらには、まちづくり策の掘り起こしも行います。

地域行事参画・・・地域で行われる大小イベントに参加し、幅広い交流を図ります。

体験報告会・・・体験調査活動の報告会を行います。

(4) 受入主体

当麻町

(5) 受入期間

7月下旬から8月下旬までの間の連続2週間で調整

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費・食事代・交流会費・資源調査時施設入館料等：自己負担はなし
①要件	20歳代の都市圏に在住する大学生・大学院生。 生産活動としての農業をはじめ、農と福祉または環境との連携等の農を生かした地域づくり、さらには自然環境を生かした地域づくりなどに興味があり、積極的に地域に入っていきける健康で明るい方。 募集人員は2名で性別は問いません。
②応募締切り	6月19日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願います。
③宿泊施設	ファームステイ、民泊、当麻かたるべの森「かたるべホール」
④食事形態	宿泊先が提供。資源調査時は当麻町が提供。
⑤その他	各種体験活動で行われる作業について、各自の要望や体力に応じたメニューを設定するほか、受入期間並びに詳細等、何なりとご相談に応じますので、下記担当者までお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

全国的にも有名な「でんすけすいか」のまち当麻町です。
未知の場所での農体験や地域行事への参加、田畑や山をバックにしたのフィールドワークは、将来の仕事や生き方にとつともなく強烈な原体験となるでしょう。
意欲ある皆さんの来町を心からお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名	当麻町	担当部署	農林課 農政係
(ふりがな)	むろや なおひろ	TEL:	0166-84-2123
担当者氏名	室屋 尚弘	FAX:	0166-84-4125
E-mail: muroya-n@town.tohma.hokkaido.jp			
URL: http://town.tohma.hokkaido.jp/nougyouninaite/			
応募宛先	〒078-1314 北海道上川群当麻町4条東3丁目4番63号 当麻町役場農林課		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ほっかいどうえんべつちょう
No.- 4 : 北海道遠別町 (人口 : 2, 898 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【沿岸バス】札幌駅前ターミナル ~ 沿岸バス遠別営業所まで 約4時間
沿岸バス遠別営業所から徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

『人と人のつながりを大切にし、住みたくなるまち えんべつ』をテーマに、様々な体験交流に参加していただき、地域の人たちとの交流や豊かな自然を楽しんでもらうことで地域の活性化を図り、魅力を知り、「遠別町」を発信してもらう。

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験 : 町内にある受入れ農家、農業法人等で「お試しのお試し」のような体験 (野菜の収穫、仔牛の世話 など)
- ・ そ の 他 : 体験プログラム (遠別旬のグルメ体験 など)
地域の人たちとの交流を図ります。

(4) 受入主体

NPO法人 えんべつ地域おこし協力隊

(5) 受入期間

9月24日(木) ~ 9月28日(月)
【5日間】

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担 (1日 1千円 → 例 : 4泊5日 5千円) 食事代 : 自己負担
①要 件	・ 男女問わず、都市圏に在住している大学生・大学院生 ・ 農業をはじめとする第一次産業や地域づくりに興味があり、積極的に地域の人とコミュニケーションがとれる好奇心を持っている方。
②応募締切り	平成27年7月24日(金)まで
③宿泊施設	遠別町移住交流支援センター「ぴーぷる」 ・ 参考 URL : http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/ijuu/people/
④食事形態	宿泊施設での自炊など
⑤そ の 他	この体験に参加するにあたってのご相談や詳細については、メール、電話、FAX等で下記の担当者までお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

遠別町は、人口の少ない小さな町だからこそ「人と人のつながりを大切に」しており、人とのつながりを感じられる地域です。また、日本最北の米どころであり、様々な体験を通じて楽しんでいただきたいと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 遠別町	担当部署 総務課 企画振興係
(ふりがな) のむら たつひろ 担当者氏名 野村 達宏	TEL : 01632-7-2111 ((内線) 217 FAX : 01632-7-3695
E-mail : kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp	
URL : http://www.town.embetsu.hokkaido.jp	
応募宛先 〒098-3543 北海道天塩郡遠別町字本町3丁目37番地	遠別町役場 総務課企画振興係 宛

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ほっかいどうおけとちょう
No.-5 : 北海道置戸町 (人口: 3, 137人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

女満別空港	空港連絡バス (終点 北見バスターミナル) 下車 (40分)
	路線バス 北見置戸線、勝山線、陸別線 置戸行 (40分)
JR石北線 北見駅下車	徒歩 (3分)
北見バスターミナル	路線バス 北見置戸線、勝山線、陸別線 置戸行 (40分)

(2) 事業実施の目的等

都市の若者を地域に呼び込み、地域の活性化を促す。 都市の若者の目線で地域について気付いたことを提言してもらう。

(3) 体験の内容

長期農村滞在による田舎暮らし体験 内訳 農業体験、地域行事・イベント参加協力、公民館・社会教育事業の参加協力 ものづくりグループ等の活動参加、終了時のレポート提出

(4) 受入主体

(5) 受入期間

置戸町愛タウンふるさとづくり協議会	4月1日 ~ 3月31日 1年間
-------------------	---------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：地遊人に選考された場合、置戸町までの旅費の一部を助成 (交通費往復、8割を助成) 下見や面接選考の際の交通費については、自己負担。
①要件	20歳からおおむね40歳までの健康で独身の方
②応募締切り	随時
③宿泊施設	住宅無償貸与 (家具、電化製品等あり)
④食事形態	自炊
⑤その他	生活費の助成 月額 100,000円支給 自家用車必須 (現地購入可)

(7) 地域担当者から一言

豊かな森林に抱かれた北海道置戸町で田舎暮らしを満喫し、農業体験を通して食と農、命について感じることができます。素朴で温かい地域の人々があなたを立派な田舎人に育ててくれます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 置戸町	担当部署 置戸町教育委員会 社会教育課 社会教育係
(ふりがな) 担当者氏名 いまにし 今西 輝代教	TEL : 0157-52-3075 (直通) FAX : 0157-52-3169
E-mail : k. imanishi@town. oketo. hokkaido. jp	
URL : http://www. town. oketo. hokkaido. jp	
応募宛先 〒099-1100 北海道常呂郡置戸町字置戸245-1 置戸町中央公民館	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

いわてけんかまいしし

No.-6 : 岩手県釜石市 (人口 : 36,439 人) ※平成 26 年 12 月末現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR釜石線釜石駅から車で5分(徒歩15分)
東北新幹線新花巻駅から鉄道で90分(東京駅から約5時間) 東京から高速バスで約9時間

(2) 事業実施の目的等

①KamaPro(釜石をフィールドとした長期実践型インターンシップ)
「新規事業を始めたい」、「地域を盛り上げるために何か活動したい」、「震災後始めた事業が、うまく進んでいない」など、東日本大震災で被災した釜石の企業、団体、地域には多くの課題=「本気のやりたい」があります。KamaProとして、全国から集まった学生・社会人が「本気のやりたい」を実現するプロジェクトに参画し、課題解決を目指すプログラムを提供します。

②グリーン・ツーリズム体験
漁業や農業など豊かな大自然との触れ合いや震災学習、地域の文化・人々との交流など、多彩な体験プログラムを提供します。

(3) 体験の内容

①KamaPro(釜石をフィールドとした長期実践型インターンシップ) ※下記は一例です。
・釜石ブランド新商品プロジェクト
・根浜コミモりで「外の人をよぶイベント」「釜石内の人々を結びつけるイベント」を企画
・地元旅館の食事の新メニュー&日帰り入浴プランの開発プロジェクト

②グリーン・ツーリズム体験
・漁業体験、農業体験、民泊体験、震災学習

(4) 受入主体

釜石市・三陸ひとつなぎ自然学校
・釜援隊

(5) 受入期間

①KamaPro:1~3ヶ月(内容によっては6ヶ月有)
②グリーン・ツーリズム体験:6月上旬~11月下旬(随時)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費・宿泊費・食事代・体験料:自己負担 ※①KamaPro:市内の仮設住宅を無償提供 (光熱費は定額(5,000/月)の負担)
①要件	①KamaPro:大学生以上の意欲のある方 (プログラムごとに求める条件が異なります) ②グリーン・ツーリズム体験:団体の場合の受け入れ可能人数は20名まで。
②応募締切り	①KamaPro:随時(プログラムごとに異なります) ②グリーン・ツーリズム体験:随時
③宿泊施設	①KamaPro:市内の仮設住宅を無償提供(民泊や宿泊施設への滞在可能) ②グリーン・ツーリズム体験:民宿・市内施設等
④食事形態	①KamaPro:各自 ②グリーン・ツーリズム体験:民泊先・市内施設等
⑤その他	①KamaPro:インターン生1名に対し、担当コーディネーターが1名つきます。活動支援金として、30,000円/月を支給します。

(7) 地域担当者から一言

東北・釜石で地域にどっぷりつかり、「地域の本気のやりたい」を一緒に実現させませんか?
釜石には復興の先、地域の未来を見据えた新しい挑戦に取り組む人たちがたくさんいます。
釜石で過ごす期間は、皆さんの人生にとってかけがえのないものとなること間違いなしです。

(8) お問い合わせ先

自治体名	釜石市	担当部署	①KamaPro:総務企画部総合政策課 ②グリーン・ツーリズム体験:産業振興部観光交流課
(ふりがな) 担当者氏名	いしい かずのり ① 石井 重成 はぎわら みお ② 萩原 美緒	①TEL: 0193-22-2111(内線)133 FAX: 0193-22-2686 ②TEL: 0193-22-2111(内線)332 FAX: 0193-22-5003	
E-mail:	①ishii7000@city.kamaishi.iwate.jp ②hagiwara8137@city.kamaishi.iwate.jp		
URL:	①http://kamapro.jp/index.html ②http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,0,46,253.html		
応募宛先	①〒028-8686 岩手県釜石市只越町3-9-13 釜石市総合政策課 ②〒026-0031 岩手県釜石市鈴子町22-1 シープラザ釜石2階 釜石市観光交流課		

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-7 : いわてけんくじし **岩手県久慈市** (人口: 37, 103人【 H27. 1. 5 現在】)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

九戸 IC から車で 60 分
 東北新幹線二戸駅から車で 70 分 (新幹線リレーバス)

(2) 事業実施の目的等

- ① 地域内外の交流による地域活性化
- ② 取組の客観的評価によるサービス向上

(3) 体験の内容

- 【1】教育旅行及び野外活動受入補助
- 【2】キャンプ受入補助 (グループスタッフとして参加者と行動を共にする)

(4) 受入主体

岩手県久慈市

(5) 受入期間

- 【1】5月上旬から9月下旬ごろまでのうち7日間程度
- 【2】7月30日(木)から8月3日(月)の5日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 ※東京都からお越しの場合 (東北新幹線利用) 新幹線代 (往復) 30,000 円程度 バス代 (往復) 3,000 円程度
① 要件	大学生もしくは大学院生で地域の取組みを盛り上げてくれる方
② 応募締切り	原則1ヶ月前にはお問合せ下さい
③ 宿泊施設	【1】公共施設 (コテージ等) 【2】キャンプ
④ 食事形態	【1】全て提供 【2】キャンプ参加者と共に自炊
⑤ その他	

(7) 地域担当者から一言

久慈市では、教育旅行 (修学旅行) 受入等体験型観光の推進に取り組んでいます。地域づくりの取組み等を肌で感じる事が出来ると思います。一緒に活動しながら、交流の輪を広げましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名 岩手県久慈市	担当部署 産業振興部交流促進課交流促進グループ
(ふりがな) (かぬか れいか) 担当者氏名 鹿糠 玲佳	TEL: 0194-52-2168 (直通) FAX: 0194-52-3653
E-mail: r-kanuka@city.kuji.iwate.jp	
URL: http://www.city.kuji.iwate.jp	
応募宛先 〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1-1 久慈市産業振興部交流促進課 若者の地方体験交流 係	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

みやぎけんくりはらし

No.-8 : 宮城県栗原市 (人口: 72,721人 ※H26.12末日現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線: くりこま高原駅下車 (東京から約2時間30分)
高速バス: 東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車
(仙台から約1時間20分)

(2) 事業実施の目的等

栗原市では、地域資源を活用した「くりはら田園観光都市」の創造に取り組んでいます。本事業では、学生の皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験したりしながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスガタを研究します。
さらに、グリーン・ツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

(3) 体験の内容

季節に応じて、農業や林業などの作業や地域の暮らしの行事を体験します。また、地域資源を地元住民やスタッフと一緒に調査します。その他、季節に応じてメニューを設定します。
例: 農作業体験…田んぼ、畑、果樹園等で作業体験 林業体験…森林や竹林等での作業体験
地方の暮らし体験…地方に伝わる家庭の行事体験 その他…資源調査等

(4) 受入主体

・栗原市産業経済部田園観光課
・花山はっけん塾 (民泊受入組織)

(5) 受入期間

① 8月上旬～9月中旬頃 3泊4日
※期間については相談に応じます。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者 宿泊費: 受入主体 食事代: 受入主体・一部自己負担
①要件	・大学生、大学院生 (都市、地方は問いません) ・地方、田舎に関心のある人 ・インターン終了後も、栗原市の観光事業等に協力できる方
②応募締切り	・1カ月程度前 ※各回4～8人程度を予定
③宿泊施設	・民泊 ・宿泊施設
④食事形態	・受入先で提供 ※昼食は一部自己負担あり
⑤その他	・動きやすく、作業できる服装・シューズ (サンダル・ハイヒール不可) をご用意ください

(7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルと宮城県内でもっとも広い面積を誇り、その約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然豊かな田園風景が広がる地域です。この広い栗原で、地方の暮らしや文化・歴史、農作業を体験しながら、市民との交流を楽しみましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名	宮城県栗原市	担当部署	産業経済部田園観光課観光企画係
(ふりがな)	さとう こうや	TEL:	0228-22-1151 (直通)
担当者氏名	佐藤 広也	FAX:	0228-23-5370
E-mail:	kanko@kuriharacity.jp		
URL:	http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html		
応募宛先	〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3 (JRくりこま高原駅内)		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-9 : 秋田県^{かつの}鹿角市 (人口 : 33,293 人) H26 年 12 月末時点

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線盛岡駅下車→①高速バスみちのく号盛岡駅西口乗車→鹿角花輪駅前下車(1時間30分)
(東京→盛岡2時間15分) ②JR花輪線盛岡駅乗車→鹿角花輪駅下車(2時間)

(2) 事業実施の目的等

首都圏・仙台圏の学生・社会人等を主な対象として、長期休暇等に本市において農業や観光業のお手伝いをしつつ、本市を体感する機会を提供することにより、都市と農村の交流を活性化させるとともに、交流人口の拡大を図る。

(3) 体験の内容

・農作業体験(野菜・果物の収穫など)
・観光施設の接客体験
※受入先の作業内容によりますが、おおむね日中の作業になります。

(4) 受入主体

鹿角市 (NPO 法人に委託予定)

(5) 受入期間

8 月 上 旬 ～ 1 0 月 下 旬
(この期間のうち3泊4日程度)
※受入日や泊数は調整させていただく場合がありますのでご了承ください。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：無料 その他：上記以外の滞在中に係る費用は自己負担
①要件	・首都圏及び仙台圏等の都市部に在住している18歳以上の学生・社会人で、宿泊しながら作業体験が可能な方で、同性2～3名での申込みとします。なお、4名以上での申込みも可能ですが、作業先や宿泊先が分かれることがあります。
②応募締切り	実施希望日の2週間前まで。参加申し込みは指定の参加申込書に必要事項を記入の上、郵送、メールまたはFAXでお申込みください。
③宿泊施設	受入先に宿泊または受入NPO法人の経営する施設に宿泊
④食事形態	受入先で提供(自己負担なし)
⑤その他	・旅行保険を適用します。(自己負担なし) ・集合場所から受入先までは観光振興課または受入NPO法人で対応します。 ・持ち物は着替え、洗面道具、タオル類、動きやすく汚れてもよい服、帽子、長靴、健康保険証。 ・応募いただいた内容は受入NPO法人にも送付しますのでご了承ください。

(7) 地域担当者から一言

自然の中で汗を流してリフレッシュしたい、食と農を体験しながら学びたい、田舎暮らしを体験したい、こんな方におすすめです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 秋田県 鹿角市	担当部署 産業部観光振興課 観光交流班
(ふりがな) ゆざわ まさよし 担当者氏名 湯沢 真好	TEL : 0186-30-0248 (直通) FAX : 0186-30-1515
E-mail : kankou@city.kazuno.lg.jp	
URL : http://www.city.kazuno.akita.jp/index.html	
応募宛先 〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おぐにまち
No. - 1 0 : 山形県小国町 (人口 : 8, 4 2 1 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 米坂線 小国駅下車 循環バス 役場前バス停

(2) 事業実施の目的等

- ・本町の地域資源の豊かさを地域住民自らが再認識し、新たな価値を創造するとともに、地域住民及び大学等が交流・連携しながら地域の活性化を図る。
- ・Facebook 等の SNS を活用した小国町の情報発信を行い、小国町のファンを増やす。

(3) 体験の内容

- ①ア 森林セラピー体験
- イ 食文化体験 (郷土料理づくり、特産品販売・開発)
- ウ 雪国体験 (雪掘り、雪を活用したイベント参加)
- エ 再生可能エネルギー調査 (木質バイオマス活用、小水力発電など)
- ② 地域資源を活用した地域の活性化へ向けた実践活動

(4) 受入主体

山形県小国町

(5) 受入期間

- ① 9月中旬 7日間
- ② 実践活動は時期未定だが2泊3日程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：町が負担します (都内からの場合に限る) 宿泊費：無料です 食事代：自己負担になります
①要件	東京近隣の大学生、大学院生 ①、②どちらも参加できる方
②応募締切り	7月末までに担当者へメール等でご連絡ください
③宿泊施設	町内宿泊施設など
④食事形態	町内飲食店ほか自炊の場合もあります
⑤その他	小国町と早稲田大学で実施している「域学連携事業」と合同で実施します

(7) 地域担当者から一言

小国町は、豊かな「自然」と情熱を持って地域づくりに取り組む「人」など、地域資源 (宝物) がたくさんあります。地域の活性化や課題解決などについて、体験だけではなく自分が提案したことを実践することにより、自分の知識のアウトプット、自身のキャリアアップにつながります。白い森の国「おぐに」でお待ちしています!

(8) お問い合わせ先

自治体名 山形県小国町	担当部署 総務企画課政策企画担当
(ふりがな) たかはし としのり 担当者氏名 高橋俊典	TEL : 0238-62-2264 (直通) FAX : 0238-62-5464
E-mail : soumu@town.oguni.yamagata.jp	
URL : http://www.town.oguni.yamagata.jp/	
応募宛先 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町2-70	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 1 : ふくしまけんあいつわかまつし
福島県会津若松市 (人口 : 122,618 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR磐越西線 会津若松駅
高速バス 新宿駅・東京駅～会津若松駅他
自家用車 磐越自動車道 会津若松IC・磐梯河東IC

(2) 事業実施の目的等

農家においては、農繁期などの負担軽減や都市住民との交流による地域活性化に繋がり、参加者においては、農家に滞在して農作業に従事することにより、農業・農村をより深く理解してもらう機会となることを目的としています。

(3) 体験の内容

「会津若松市ワーキングホリデー」
・水稲、野菜、果樹などの各種作業のお手伝い
・農家に宿泊しながら田舎暮らし体験

(4) 受入主体

会津若松市

(5) 受入期間

通年受け入れ

(滞在日数は2泊3日以上で農家が希望する時)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：なし 食事代：なし
①要件	一定期間きちんと農作業を手伝える方
②応募締切り	希望する初日の2週間前まで 「ワーキングホリデー参加申込書」に必要事項を記入のうえ、会津若松市農政課まで郵送、FAX、電子メールで申込み
③宿泊施設	受入農家
④食事形態	受入農家で提供
⑤その他	・作業ができる服装、着替え、洗面道具、タオルなどを準備してください。 ・長靴の無料レンタルも行っています。(サイズ、数量に限りがあります。)

(7) 地域担当者から一言

会津若松市はたくさんの史跡や四季折々の自然など観光資源が豊富なまちです。その一方で農業も大変盛んで、水稲、野菜、果樹など、あらゆる農作物を栽培しており、いろいろな農作業や農村体験をすることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 会津若松市	担当部署 農政部 農政課 農業活性化グループ
(ふりがな) たぬま のりこ 担当者氏名 田沼 紀子	TEL : 0242-39-1253 (直通) FAX : 0242-23-8180
E-mail : nosei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp	
URL : http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp	
応募宛先 〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-46	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 2 : 福島県 川俣町 (人口: 14, 241人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東北新幹線・福島駅下車 JRバス川俣高校行き 役場前バス停 45分程度

(2) 事業実施の目的等

- ・農作業体験及により農業・農村生活を体感し理解を深め、そのことを自分の言葉で語れる若者を育む(ファームステイになるか否かは未定)
- ・地域づくり、まちづくりへの関わりに意欲のある都市の大学生・大学院生等の若者との交流を活発化させ、都市資源(人、産業、文化等)と地域資源(人、産業、文化等)を活用した、新しい地域づくり活動や仕事の創出のきっかけづくりを図る

(3) 体験の内容

- ・仕事としての花卉、野菜等の農作業や養鶏、酪農等の飼育作業体験
- ・地域伝統行事(盆踊り)参加や小中学校訪問による地域住民との交流
- ・地域ヒアリングによる現有地域資源を活用した交流事業の仕組みの提案
- ・からりこフェスタ、川俣シャモまつり等運営補助
- ・現地報告会
- ・原発問題が農業その他にもたらした現実を体験できます(今しかできません)

(4) 受入主体

・小島・飯坂自治会(予定) ・川俣町

(5) 受入期間

・8月上旬 ~ 9月上旬
30日間程度(応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 自己負担 宿泊費・食事は下記に問い合わせください
①要件	地域づくりや農業・農村生活体験に好奇心旺盛な大学・大学院生
②応募締切り	平成27年6月19日(金)必着、消印。 必ず担当者に連絡の上、別添の参加申込書、小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願います
③宿泊施設	町施設、民宿等。宿泊形態は共同生活またはホームステイ。
④食事形態	自炊
⑤その他	体験や交流によっては宿(民泊)・食事の提供あり 作業体験によっては報酬あり

(7) 地域担当者から一言

皆さんが30日間という時間を費やす価値が川俣町にはあります。何を見て、何を聞き、何に驚き、喜び、何をしたのか。何を感じ、考えたのか…あなたの言葉で伝えてほしい。

(8) お問い合わせ先

自治体名	川俣町	担当部署	産業課 商工交流係
(ふりがな)	(にいぜき あきら)	TEL	: 024-566-2111 (内線) 1505
担当者氏名	新 関 明	FAX	: 024-566-3120
E-mail	: sangyo@town.kawamata.lg.jp		
URL	: http://www.town.kawamata.lg.jp		
応募宛先	〒960-1492 福島県伊達郡川俣町字五百田30 川俣町役場産業課商工交流係 宛		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ふくしまけん いなわしろまち

No.- 1 3 : 福島県猪苗代町

(人口: 約 15,000 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

電車: 東北新幹線・JR磐越西線 郡山駅乗車・猪苗代駅下車 首都圏から約2時間30分
車: 東北自動車道 郡山ジャンクション 磐越自動車道 猪苗代磐梯高原IC 首都圏から約3時間30分

(2) 事業実施の目的等

- ・若い人たちに、農業の楽しさ・農業の知識力を高めてもらいたい。
- ・交流人口の拡大

(3) 体験の内容

花の定植・管理・収穫

(4) 受入主体

いなわしろ体験学習推進協議会

(5) 受入期間

4月中旬 ~ 11月上旬

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	花・農業に興味がある人
②応募締切り	期間中、体験時の2週間前ぐらいまで
③宿泊施設	民宿
④食事形態	民宿にて、朝・夕を提供(昼食は、各自)
⑤その他	作業が出来る服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

風光明媚な猪苗代町で、スローライフに興味がある方はぜひ体験してみませんか

(8) お問い合わせ先

自治体名 福島県猪苗代町	担当部署 商工観光課 商工観光係
(ふりがな) 担当者氏名 安部 庄英	TEL: 0242-62-2117 (直通) FAX: 0242-62-5175
E-mail: syoukan@town.inawashiro.fukushima.jp	
URL: http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/	
応募宛先 〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字城南 100 番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ふくしまけんかねやままち
No. - 1 4 : 福島県金山町 (人口 : 2,200 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 只見線 会津川口駅

(2) 事業実施の目的等

金山町への移住に関心をもつ方を対象とした体験ツアー

(3) 体験の内容

・町内散策 (移住希望地をチェック)・地元住民との交流・I ターン移住者宅へ訪問し、移住体験談を聞く・空き家物件の紹介・農業体験 等

(4) 受入主体

金山町

(5) 受入期間

申込者と日程調整し随時実施

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 主要駅までは個人負担 宿泊費： 無料 食事代： 2 日間のツアー中、昼食は個人負担
①要件	金山町 (奥会津) への移住に興味のある方
②応募締切り	随時 8 組限定 (1 組 4 名まで)
③宿泊施設	町内の農家民泊を使用 ※無料
④食事形態	農家民泊では朝・夕を提供 (昼食は各自)
⑤その他	カヌー体験等の内容が含まれますので、動きやすい服装でお越しください

(7) 地域担当者から一言

田舎だからこそできる生活がここにはあります。あなたの若さとセンスで自分づくり・町づくりをしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福島県金山町	担当部署 産業課 商工観光係
(ふりがな) 担当者氏名 小沼 優	TEL : 0241 - 54 - 5327 (直通) FAX : 0241 - 54 - 5335
E-mail : kanko@town.kaneyama.fukushima.jp	
URL : http://www.town.kaneyama.fukushima.jp	
応募宛先 〒968 - 0011 福島県大沼郡金山町大字川口字谷地 393 金山町役場産業課商工観光係	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 5 : ふくしまけんいしかわまち **福島県石川町** (人口 : 1 6 , 5 3 8 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線新白河駅より車で60分
JR水郡線磐城石川駅より車で20分
(石川町板中地区)

(2) 事業実施の目的等

農業体験や地元食材を使った料理を食してもらいながら、地域住民やすでに石川町へ移住されている方々との交流を図ることで、石川町での田舎暮らしについて理解を深めていただき、移住・定住を推進する。

(3) 体験の内容

農業体験
地元食材による食事
地域住民・田舎暮らしの先輩(移住者)との交流

(4) 受入主体

板中組合・石川町

(5) 受入期間

5月下旬(1泊2日)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担(新白河駅からは無料送迎あり) 参加費：7,000円程度。(宿泊費、食事代、体験料込み。)
①要件	田舎暮らしに興味のある方10名程度
②応募締切り	5月中旬
③宿泊施設	町内宿泊施設
④食事形態	受入先で提供(費用負担は参加費に含む。)
⑤その他	動きやすい服装でご参加ください。また、田植え作業を予定していますので、帽子や着替えをご用意ください。(長靴・手袋はこちらで準備します。)

(7) 地域担当者から一言

石川町板中地区は、町南部の山あいにある里山の風景が美しい小さな地域です。元気な人が多く地域活動が盛んで訪れた人々を楽しませてくれています。里山の美しい自然に囲まれたこの地で、人情味あふれる素敵な方々と交流を深めてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 石川町	担当部署 地域づくり推進課 まちづくり推進係
(ふりがな) なかむら たけふみ 担当者氏名 中村 健文	TEL : 0247-26-9111 (直通) FAX : 0247-26-0360
E-mail : nakamura569@town.ishikawa.fukushima.jp	
URL : http://www.town.ishikawa.fukushima.jp/	
応募宛先 〒963-7893 福島県石川郡石川町字下泉153-2	石川町役場地域づくり推進課

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ふくしまけんにしごうむら
No.- 1 6 : 福島県西郷村 (人口 : 19,957 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線・JR 東北本線 新白河駅下車
東北自動車道白河 IC

(2) 事業実施の目的等

- ・若い人の意見を聞きたい、取り入れたい。
- ・地域を実感してほしい。

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (要相談)
- ・酪農体験 (要相談)
- ・そば打ち体験 (要相談)
- ・自然体験 (要相談)

(4) 受入主体

西郷村観光協会

(5) 受入期間

通年 (要相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担 食事代 : 自己負担 体験費 : 実費
①要件	3大都市圏居住の20歳以上の大学生及び大学院生で、田舎が好き、人とふれあいが好き、そして好奇心旺盛な人
②応募締切り	事前に相談
③宿泊施設	旅館、民宿、ビジネスホテル、コテージ、農家民宿、公共施設等
④食事形態	旅館等では朝・夕
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

当村は、高速交通網が充実しており新幹線なら東京から新白河駅まで1時間ちょっと、車でなら東北自動車道で浦和 IC から白河 IC まで1時間40分。日光国立公園と阿武隈川源流に位置しております。下郷町や栃木県那須町と大きな観光地に隣接する当村の知名度は全国的に低く、「さいごうむら」と呼ばれる有様ですが、首都圏からは日帰りでも田舎体験ができる立地なのでお気軽にお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 西郷村	担当部署 農政課
(ふりがな) おくやま ゆういち 担当者氏名 奥山 雄一	TEL : 0248-25-1116 (直通) FAX : 0248-25-2590
E-mail : nousei@vill.nishigo.fukushima.jp	
URL : http://nishigo-kankou.jp/	
応募宛先 〒961-8501 福島県西白河郡西郷村大字熊倉字折口原40番地	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 7 : とちぎけん 栃木県 や いた し 矢板市 (人口: 34, 156人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR宇都宮線(東北本線) 矢板駅より車で約30分
 東北自動車道 矢板ICより車で約40分

(2) 事業実施の目的等

棚田の景観の保全とPR
 都市住民との交流による農山村地域の活性化

(3) 体験の内容

地元農家指導のもと行う全4回の農業体験(オーナー制度)。
 核となる稲作体験の他、じゃがいもの栽培・収穫などを行う。
 収穫後は、一組ごとに新米30kgをはじめとした農作物を受けとれる。

(4) 受入主体

ひょうごはた 兵庫畑棚田を守る会

(5) 受入期間

平成27年3/14、5/9、7/18、10/3の年4日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: オーナー負担 宿泊費: 宿泊なし(日帰りイベント) 食事代: 参加費に含む 参加費: 1組(4人まで)につき25,000円の年会費
① 要件	農業に興味がある方!
② 応募締切り	平成27年2月27日(金)
③ 宿泊施設	なし
④ 食事形態	地元食材を用いた昼食の提供
⑤ その他	各作業に適した服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

矢板市にある棚田「兵庫畑(ひょうごはた)」は、「残したい栃木の棚田21」にも選定される栃木県内有数の景勝地です。雄大な自然に囲まれながらの農業体験に、あなたも参加してみませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名	矢板市	担当部署	農業振興課 振興担当
(ふりがな)	ぬまお まさひろ	TEL:	0287-43-6210(直通)
担当者氏名	沼尾 方弘	FAX:	0287-44-3324
E-mail:	nougynosinkou@city.yaita.tochigi.jp		
URL:	http://hyougohatatanada.blog.fc2.com/		
応募宛先	〒329-2192	栃木県矢板市本町5-4 矢板市農業振興課 振興担当	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 8 : とちぎけん 栃木県 や いた し 矢板市 (人口: 34, 156人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR宇都宮線(東北本線) 矢板駅より車で約10分
東北自動車道 矢板ICより車で約10分

(2) 事業実施の目的等

地元産の蕎麦を用いた地産地消PR
都市住民との交流による地域の活性化

(3) 体験の内容

地元農家が指導する、全3回の農業体験(オーナー制度)。
蕎麦を栽培、収穫し、蕎麦打ち講習会にて打ちたての蕎麦を味わえる。
終了後に自宅で蕎麦打ちをするためのそば粉セットなど、特典付き。

(4) 受入主体

きょうゆうきょうらく
蕎友蕎楽の会

(5) 受入期間

平成27年8月、11月、12月(3回)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: オナー負担 宿泊費: 宿泊なし(日帰りイベント) 食事代: 参加費に含む 参加費: 1名につき5,000円の年会費
① 要件	農業に興味がある方!
② 応募締切り	平成27年7月末(予定)
③ 宿泊施設	なし
④ 食事形態	地元産のそば粉をもちいた蕎麦、その他
⑤ その他	各作業に適した服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

蕎友蕎楽の会では、地場産そばのPRと地産地消の推進を目的に、そばオーナー制度を実施しています。自分で育てたそばをあなたも味わってみませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名	矢板市	担当部署	農業振興課 振興担当
(ふりがな)	ぬまお まさひろ	TEL:	0287-43-6210(直通)
担当者氏名	沼尾 方弘	FAX:	0287-44-3324
E-mail: nougyosinkou@city.yaita.tochigi.jp			
URL:			
応募宛先	〒329-2192	栃木県矢板市本町5-4 矢板市農業振興課 振興担当	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-19 : 群馬県桐生市

(人口: 118, 525人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR両毛線 桐生駅下車 徒歩10分
東武鉄道桐生線 新桐生駅 おりひめバス(市役所前下車) 15分

(2) 事業実施の目的等

少子化・高齢化が当たり前となっている現在、人口減少社会に対応し活気あるまちにするにはどうしたらよいか。全国の自治体が抱えているであろう悩みを、本市でも一地方都市として、より深刻な問題として持っています。

そこで、学生自ら「地域の活性化」に関するテーマを設定して桐生に入り、「外から見た若者の新鮮な視点」で桐生を見て・体験してもらい、持続可能で住んでみたいと思うような「まちづくり」への提言をいただき、地域の活性化につなげていくことを目的に実施します。

(3) 体験の内容

学生自らが設定したテーマに沿って、実行委員会でコンテンツを提供した中から自分にあった体験を選んでいただき、それに基づいて体験内容を組んでいく方法で実施します。

【体験の例】

- ・ 伝統産業である織物業の体験、農作業体験、桐生市の市民活動団体や地域住民との交流
- ・ 市の重点施策・重要伝統的建造物群保存地区等についての概要説明、まち歩き
- ・ 宿泊は原則民泊となります。

そのほか、よりよいインターン事業となるよう、希望がある場合はできるだけ調整をします。

(4) 受入主体

桐生市地域づくり交流事業実行委員会

(5) 受入期間

A: 8月中旬 ~ 8月下旬 2週間程度の予定
※相談のうえ、日程を決定

B: 上記期間以外で随時 2泊3日以上(要相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: A 自己負担なし B 原則自己負担 食事代: A 原則自己負担なし B 原則自己負担 国内傷害保険: A 実行委員会で加入 B 自己負担(加入必須)
①要件	A: 大学生及び大学院生。桐生市の歴史や文化、取り組みなどに興味があり、地域の活性化を図るとともに、I・J・Uターンの促進に関心のある人。 B: 18歳以上の学生・社会人。桐生市に関わることを研究テーマとする人。体験内容は必ず事前相談のうえ、上記(3)から選択していただきます。
②応募締切	A: 6月15日(月)必着。参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載し、担当まで郵送にて申し込みをお願いします。なお、桐生市独自様式にて研究テーマの提出をお願いすることがあります。 B: 随時。参加申込書(写真添付不要)に必要事項を記載し、郵送かメールで提出してください。なお、桐生市独自様式にて研究テーマの提出をお願いすることがあります。
③宿泊施設	民泊、お試し暮らし住宅など
④食事形態	A: 朝食・夕食は原則民泊先で用意しますが、お試し暮らし住宅を利用する場合は各自で用意をお願いすることがあります。昼食は原則実施主体で用意。 B: 原則自己負担。ただし、受入先によって用意もあり。
⑤その他	Aのみ、事前オリエンテーションを東京で実施予定。また、事前にOBが集まる機会もあります。

(7) 地域担当者から一言

桐生を様々な角度から体験して「住みたい」と思うまちづくりへの提言をお願いします。また短期間のプログラムとして「地域づくり交流事業(B)」の受け入れを随時行っております。

(8) お問い合わせ先

自治体名	桐生市	担当部署	産業経済部観光交流課交流促進係
(ふりがな)	むかいだ さ え	TEL:	0277-46-1111 (内線367)
担当者氏名	向 田 彩 恵	FAX:	0277-40-1283
E-mail: kanko@city.kiryu.lg.jp			
URL: http://www.city.kiryu.gunma.jp/			
応募宛先	〒376-8501 群馬県桐生市織姫町1番1号 桐生市観光交流課内 桐生市地域づくり交流事業実行委員会 あて		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-20 : 新潟県三条市

(人口 : 101,775 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京～燕三条(約2時間) 上越新幹線 燕三条駅乗換 弥彦線 東三条駅下車
東三条駅より「八木ヶ鼻温泉」行きバス乗車 約40分「諸橋徹次記念館前」停留所下車
道の駅漢学の里しただ(集合場所)

(2) 事業実施の目的等

ものづくりのまち三条はアウトドアの聖地として知られ、そこには自然豊かな下田郷が広がっています。その下田郷の魅力と高品質なアウトドア製品を大都市圏に居住する若者に体感してもらい、ひいては、三条市の魅力を発信してもらう事につなげます。

(3) 体験の内容

○スノーシューツアーのガイド補助
地元ガイドとともに、日本棚田百選に選ばれた北五百川の棚田を、スノーシューを履いて歩きます。
冬の棚田や山々の雪景色を体感してもらいます。

(4) 受入主体

三条市

(5) 受入期間

平成28年2月下旬～3月上旬予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	・アウトドアが好きな方 ・地域の魅力を発信することに関心がある方
②応募締切り	開催日の二週間前
③宿泊施設	下田地域の宿泊施設
④食事形態	食費自己負担
⑤その他	雨天中止の場合有。

(7) 地域担当者から一言

“ものづくりのまち”として知られている三条市ですが、スノーピーク、キャプテンスタッグなどの本社がある、知る人ぞ知る“アウトドアの聖地”です。その三条市の下田郷は自然と歴史が息づく魅力ある地域です。その下田郷の魅力と高品質なアウトドア製品を体感してみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県三条市	担当部署 経済部営業戦略室営業戦略係
(ふりがな) たきざわ ゆうき 担当者氏名 滝沢 祐貴	TEL : 0256-34-5511 (内線 482) FAX : 0256-36-5111
E-mail : eigy@city.sanjo.niigata.jp	
URL : http://www.city.sanjo.niigata.jp	
応募宛先 〒955 - 8686 新潟県三条市旭町二丁目3-1 三条市役所経済部営業戦略室	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 1 : 新潟県三条市 (人口 : 101,775 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京～燕三条(約2時間) 上越新幹線 燕三条駅乗換、弥彦線 北三条駅下車
* 三条市役所までの道順

(2) 事業実施の目的等

三条市が企画する「三条のものづくり体感ツアー」並びにそのPRイベントを自ら体験し、当市の職人と意見交換しながらともに運営することにより、当市のものづくりの魅力に深く触れていただく。さらにその魅力の表現方法について、職人や市との意見交換を行う。

* 当市は鍛冶をルーツにした多くの町工場があるまちであり、様々な工場の見学・各種体験ができる「工場の祭典」というイベントを行っています。この際、職人のものでづくりにかける気持ちを語っていただきながら工場見学を行う「ものづくり体感ツアー」を実施します。また、PRイベントを都内「IID世田谷ものづくり学校」で開催する予定です。

(3) 体験の内容

「ものづくり体感ツアー」スタッフ
三条製品の品質や、鍛冶のルーツ等歴史に触れながら、ツアーのアテンド・ガイド補助を行っていただきます。イベントにおいても、運営や情報発信等にご協力いただきます。
※ツアー・イベントどちらかのみ参加も可能

(4) 受入主体

三条シティセールス事業実行委員会
(事務局 : 三条市営業戦略室)

(5) 受入期間

8月～ 10月
期間内、2日間で3回程度(日にち未定)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 都内よりツアーバスに同乗いただきます(発着地未定) 宿泊費 : 自己負担 食事代 : 自己負担
①用 件	ものづくりに関心のある方、デザイン関係に携わっておられる方など
②応募締切り	7月31日
③宿泊施設	市内宿泊施設(イベントの際は日帰り)
④食事形態	自己負担
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

三条市はものづくりで有名な「燕三条地域」にあります。鍛冶職人が残る特徴的な地域であり、グッドデザイン賞をいくつも受賞するなど匠の技は時代の先端を捉え、日々進化しています。奥が深く、実は身近でもある三条市のものづくりを、一緒にカッコよく発信しませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名	新潟県三条市	担当部署	経済部 営業戦略室 営業戦略係
(ふりがな)	やなぎたゆきえ	TEL :	0256-34-5511 (内線 735)
担当者氏名	柳田 友紀恵	FAX :	0256-36-5111
E-mail :	eigyo@city.sanjo.niigata.jp		
URL :	http://www.city.sanjo.niigata.jp		
応募宛先	〒955-8686 新潟県三条市旭町二丁目3-1 三条シティセールス事業実行委員会		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 2 : 新潟県三条市 (人口 : 101,775 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京～燕三条 (約2時間) 上越新幹線 燕三条駅乗換 弥彦線 北三条駅下車
* 三条市役所までの道順

(2) 事業実施の目的等

三条市下田地域において開催される稲刈り体験をはじめとする体験プログラム (都内小学生対象) にスタッフとして関わってもらおうと共に、応募者自身も実際に体験し三条市の魅力を体験してもらおう。また、地域を越えて人が繋がる魅力を感じてもらおう。

(3) 体験の内容

○体験プログラムの運営スタッフ兼
・ 宿泊補助
・ 小学生のアテンド補助
・ 稲刈り、ものづくり等の体験

(4) 受入主体

三条市

(5) 受入期間

9月上旬～下旬

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地 (燕三条駅) までの交通費 : 自己負担 (市内の移動は当市負担) 宿泊費 : 当市で負担 食事代 : 当市で負担
①要件	・ 小学生と関わることが好きな方 ・ 地域の魅力を発信することに関心がある方 ・ 地域固有の体験に興味がある方
②応募締切り	5月30日
③宿泊施設	下田地域の宿泊施設
④食事形態	朝・夕を提供 (昼は各自用意)
⑤その他	・ 天候によって稲刈り体験等、屋外での体験ができない場合有 ・ 1~2回事前の打合せを予定しております。

(7) 地域担当者から一言

三条市では毎年、都内小学校を対象に稲刈り等の体験プログラムを実施しています。運営スタッフとして携わりながら、一緒に体験を行い、三条市の魅力、地域を超えた人の繋がりを感じてみてはいかがでしょうか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県三条市	担当部署 経済部営業戦略室営業戦略係
(ふりがな) たきざわ ゆうき 担当者氏名 滝 沢 祐 貴	TEL : 0256-34-5511 (内線 482) FAX : 0256-36-5111
E-mail : eigyo@city.sanjo.niigata.jp	
URL : http://www.city.sanjo.niigata.jp	
応募宛先 〒955 - 8686 新潟県三条市旭町二丁目 3-1 三条市役所経済部営業戦略室	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 3 : 新潟県三条市 (人口 : 101, 775 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京～燕三条 (約2時間) 上越新幹線 燕三条駅乗換 弥彦線 北三条駅 下車
※三条市役所までの道順

(2) 事業実施の目的等

三条市の中心市街地を舞台に開催している「～三条マルシェ～ごった市@ホコテン」では、毎回、若者を中心としたボランティア「マルシェ部」が、スタッフとして運営を支えている。マルシェ部に参加することで、三条市を知るきっかけとなり、中心市街地の魅力を感じてもらう。

(3) 体験の内容

マルシェ部スタッフ
(想定される主な作業)
・備品の準備、撤収 ・会場美化 ・会場案内 ・イベントステージ補助 など

(4) 受入主体

三条マルシェ実行委員会
(事務局 : 三条市経済部地域経営課)

(5) 受入期間

10月11日(日)～ 10月12日(月・祝)
2日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担 食事代 : 自己負担 (12日の昼食のみ補助)
①要件	市街地活性化活動に興味がある方
②応募締切り	9月30日(水)
③宿泊施設	市内宿泊施設
④食事形態	各自用意 (12日の昼食のみ補助)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

三条マルシェを年8回開催しているうち、最大規模となる10月開催では、三条市内外に留まらず、県外からも非常に多くの出店と、約10万人ものご来場をいただいています。三条マルシェのスタッフとして会場を歩きまわって、三条のまちなかの魅力を感じてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県三条市	担当部署 経済部地域経営課中心市街地活性化推進室
(ふりがな)やまや ゆうすけ 担当者氏名 山屋 雄輔	TEL : 0256-34-5511 (内線 727) FAX : 0256-36-5111
E-mail : chiikikeiei@city.sanjo.niigata.jp	
URL : http://www.city.sanjo.niigata.jp/	
応募宛先 〒955-8686 新潟県三条市旭町二丁目 3-1 三条市役所経済部地域経営課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

とおかまちし
No.-24 : 新潟県十日町市 (人口: 57,161人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上越新幹線・越後湯沢駅 北越北(ほくほく)線十日町駅下車 東京から約2時間

(2) 事業実施の目的等

・多くの若い方から、十日町市でのさまざまな就業体験、田舎暮らし体験を通して、当市の魅力を知り、発信していただきたい。
・当市の魅力を知り、当市を選んで住み継ぎ、新たな地域の担い手として市の活性化をお手伝いいただきたい。

(3) 体験の内容

・「地域づくり」×「農業」、「古民家再生」、「古民家カフェのお手伝い」、「移動販売のお手伝い」
・市内山間地集落を支援する地域復興支援員や地域おこし協力隊の支援活動に携わりながら、「地方再生における外部人材の役割」や集落営農で農業収入を増やす仕組みづくりを、住民とともに汗を流し、ともに喜び、ともに笑いながら学び、大変することができます。

(4) 受入主体

特定非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会(中条飛渡地区)

(5) 受入期間

7月上旬～ 3月20日(金)
約270日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 個人負担(東京から約8,000円) 宿泊費: 自己負担なし(*冬期間、暖房代が必要となる場合があります) 食事代: 自炊(原則、自己負担)
①要件	・チャレンジ精神のある方 ・社会(地域)貢献したいと考えている方 ・自然が身近にある生活をしたい方 ・自分にあった田舎暮らしを体験したい方 ・十日町市地域おこし協力隊への応募を検討している方
②応募締切り	平成28年2月末まで 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者までFAX又はメールにてご連絡ください(受入定員に達し次第、募集を打ち切る場合があります)。
③宿泊施設	廃校となった分校での共同生活ほか、地域集会施設、レンタルハウス
④食事形態	原則、自炊 住民との交流において、食事に招待いただけることもあるかもしれません。
⑤その他	・移住定住の多様な窓口として、新潟県が実施する事業を活用して、インターン研修生の受入を行っています(研修期間は、原則1か月となります)。 ・作業ができる(汚れてもいい)服装をご準備ください。作業に必要な備品、消耗品は当方で準備・購入します。

(7) 地域担当者から一言

集落住民との触れ合いから人とつながることの楽しさや、田舎ならではの「助け合い」「お互い様」の精神に触れて、田舎の魅力を再発見してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県 十日町市	担当部署 総務部 企画政策課 協働推進係
(ふりがな) こばやし ひでゆき 担当者氏名 小林 秀幸	TEL : 025-757-3693 (直通) FAX : 025-752-4635
E-mail : t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp	
URL : http://www.city.tokamachi.lg.jp/	
応募宛先 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-25 : 新潟県妙高市

(人口 : 34,577 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

北陸新幹線 上越妙高駅下車 えちごトキめき鉄道 新井駅
※新井駅から体験交流実施地域までは車で約 30 分 (受入れ協議会送迎)

(2) 事業実施の目的等

当市の持つ地域資源を活用し、体験プログラムの提供や教育体験旅行の受入れを行っている、妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会の応援隊を募集しています。
情報発信や新たな魅力発見、山間地のおじいちゃん、おばあちゃんの元気づくりに、若い皆さんから新しい風を吹き込んでいただきたいと思います。

(3) 体験の内容

○交流イベントの運営補助 ○教育体験旅行の受入れ補助
○地域資源調査 ○地域資源を活用した交流人口拡大や後継者育成に向けた提言
○天候や季節によって変わる農家のありのままの 1 日を体験
決まったプログラムではなく、訪問時期に実施可能な事を体験いただくことになります

(4) 受入主体

妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会
妙高市

(5) 受入期間

通年 (要事前相談)
推奨 7 月～9 月 (農繁期)

(6) 応募上の注意

※費用負担	○現地までの交通費：自己負担 電車 東京駅から北陸新幹線利用 片道約 10,000 円 バス 新宿駅西口又は池袋駅東口から高速バス利用 片道約 6,000 円 ○宿泊費：無料 ○食事代：一部有料 ○体験料：1,500 円 ○保険料：500 円
①要件	大学生及び大学院生
②応募締切り	希望日の概ね 1 か月前までに申込み (所定の申込用紙あり)
③宿泊施設	農家民泊、公共施設など
④食事形態	3 食提供 (体験の内容により、共同調理となる場合があります)
⑤その他	申し込み先は「妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会」になります

(7) 地域担当者から一言

おいしいお米やお酒、安全安心な野菜等が楽しめる地域で、やりがいのある受入れ協議会のお手伝いをしてみませんか。
雪国が培った「思いやり」「ゆずりあい」の心で皆さんをお出迎えいたします。

(8) お問い合わせ先

自治体名	妙高市	担当部署	農林課 農山村振興係
(ふりがな) 担当者氏名	ほさか なおただ 保坂 尚忠	TEL : 0255-74-0028 (直通) FAX : 0255-73-8206	
E-mail	norin@city.myoko.niigata.jp		
URL	http://www.city.myoko.niigata.jp/		
応募宛先	〒 944-2235 新潟県妙高市大字関山 6186 番地 1 (ハートランド妙高内) 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会 TEL 0255-82-3935 、 FAX 0255-82-3935 e-mail info@myoko-gt.com 、 URL http://myoko-gt.com/		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-26 : 新潟県上越市

(人口 : 200,179 人) ※H27.1.1 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

板倉区寺野地区 : 新井駅または北新井駅 (妙高はねうまライン) から車で約 25 分
※ 路線バス…【山寺薬師線】新井駅 (新井バスターミナル) →バス停「猿供養寺」で下車
※ 駅から開催場所への送迎については、ご相談ください。

(2) 事業実施の目的等

地域のイベントへの参加や各種体験、築 100 年以上の古民家での滞在を通じ、山里の暮らしを体験していただきます。

(3) 体験の内容

- 農家体験 (田植え・稲刈り、高原野菜の栽培・収穫など)
- 雪国暮らし体験 (薪割り、かんじき作り、雪掘りなど)
- その他、囲炉裏・薪ストーブ、五右衛門風呂といった昔ながらの生活や、もちつきなども体験できます。

(4) 受入主体

寺野の自然と暮らそうサポートセンター
(板倉区寺野地区)

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

※費用負担	・現地までの交通費 : 各自負担 ・参加費 (宿泊費込み) : 1泊2日の場合、3,000 円程度 (予定)
①要件	山里の暮らしに関心のある方、中山間地域へ移住をお考えの方など
②応募締切り	各開催日の7日ほど前
③宿泊施設	古民家など、地域の体験施設
④食事形態	基本的に自炊 (※ 近くの農家民宿、温泉施設で食事することもできます。)
⑤その他	体験の内容、日程等はご希望に合わせて調整しますので、ご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

受入主体の「寺野の自然と暮らそうサポートセンター」は、山里で暮らしたい人を応援しています。事務局長・北折さんは埼玉から移住し、古民家をいくつも自分で改修して、地域の人たちと交流する拠点づくりに取り組んできました。地区には2種類の温泉が楽しめる「ふしんの里 やすらぎ荘」もあり、ゆったりとした山里の暮らしを体験したい方におすすめです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 上越市	担当部署 自治・市民環境部 自治・地域振興課 中山間地域振興係
(ふりがな) おおくま さやこ 担当者氏名 大熊 明子	TEL : 025-526-5111 (内線 1431) FAX : 025-526-6114
E-mail : jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp	
URL : http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/	
応募宛先 〒943-8601 新潟県上越市木田 1-1-3	上越市役所 自治・地域振興課 中山間地域振興係

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

にいがたけんじょうえつし
No.- 2 7 : 新潟県上越市 (人口 : 200, 179 人) ※H27. 1. 1 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

大島区旭地区・吉川区川谷地区 : ほくほく大島駅 (ほくほく線) から車で約 15~25 分
※ 駅から開催場所への送迎については、ご相談ください。

(2) 事業実施の目的等

地域の共同作業やイベントへの参加を通じ、地域の資源を最大限に活かす山里の暮らしを体験していただきます。

(3) 体験の内容

- 5 月 : 用水普請の作業を体験 (山奥の滝から田んぼまで水を引いてくる作業をお手伝い)
- 10 月 : アイガモ料理&新米を味わう (合鴨農法で活躍したカモをさばいて、命をいただくことを実感。新米と一緒にいただきます)
- 2 月 : キャンドルロード作り&ブナの森の散策 (雪の中キャンドルを灯すイベント「灯の回廊」に参加。また、地域の森の中をスノーシューで散策し、春の目覚めを感じます)

(4) 受入主体

上越やまざと暮らし応援団
(大島区旭地区・吉川区川谷地区)

(5) 受入期間

5 月 9 日~10 日、10 月 31 日~11 月 1 日、
2 月 27 日~28 日 (予定)

(6) 応募上の注意

※費用負担	・現地までの交通費 : 各自負担 ・参加費 (宿泊費・食事代込み) : 3, 000 円~6, 000 円程度 (予定)
①要件	山里の暮らしに関心のある方、中山間地域へ移住をお考えの方など
②応募締切り	各開催日の 10 日ほど前
③宿泊施設	地域の体験施設など
④食事形態	2 食提供予定 (夕食・朝食)
⑤その他	詳細は決まり次第、下記HPでご案内します。

(7) 地域担当者から一言

受入主体の「上越やまざと暮らし応援団」は、山里で暮らしたい人を応援しています。事務局長・天明さんは東京出身で、山間部の吉川区川谷地区でお米とブルーベリーを栽培する農家です。体験と地元の人との交流を通じて、農業を基盤とした山里の生活を実感することができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 上越市	担当部署 自治・市民環境部 自治・地域振興課 中山間地域振興係
(ふりがな) おおくま さやこ 担当者氏名 大熊 明子	TEL : 025-526-5111 (内線 1431) FAX : 025-526-6114
E-mail : jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp	
URL : http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/	
応募宛先 〒943-8601 新潟県上越市木田 1-1-3	上越市役所 自治・地域振興課 中山間地域振興係

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-28 : にいがたけんあわしまうらむら
新潟県粟島浦村 (人口 : 360 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 村上駅 ~ (乗合タクシー) ~ 岩船港 : 15 分
 岩船港 ~ (粟島汽船) ~ 粟島港 : 高速船 55 分、普通船 90 分

(2) 事業実施の目的等

- ・ 都会の若者に、「離島の暮らし」を体験してほしい。
- ・ 都会の若者に、「離島の暮らし」についての意見が聞きたい。
- ・ 都会と粟島の、橋渡しの役割を担ってほしい。
 (橋渡し=家族・親戚・友人等に紹介、一緒に遊びに来る、など)

(3) 体験の内容

- ・ 粟島の主産業である民宿、食堂のお手伝い
 (忙しい時期は、家業の手伝いのみとなってしまう日もあります。)
- ・ お手伝いの合間をみて、島の母ちゃんと農作業体験、島の父ちゃんと漁業体験など
- ・ 地域行事への参加 (七夕様 : 8 月 7 日、盆踊り : 8 月 13、14 日)

(4) 受入主体

粟島浦村

(5) 受入期間

7 月下旬~8 月中旬のうち
 10 日~14 日間程度を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 (電車賃、タクシー代、船賃など) 宿泊費 : 0 円 (民宿にホームステイ) 食事代 : 0 円
①要 件	離島の暮らしに興味のある方
②応募締切り	7 月中旬 (17 日ころ) ※参加希望者とは、順次連絡を取っていきます。
③宿泊施設	ホームステイ
④食事形態	受入先にて提供していただきます。
⑤そ の 他	基本的に、食費の自己負担はありません。

(7) 地域担当者から一言

都会の暮らしとは大違いな、粟島の暮らし。魚も野菜も旬のものを食べるから旨い！そんな粟島の暮らしを、民宿や食堂の手伝いを通して体感してもらいます。夏の粟島は観光のお客さんで大わらわ！時には家のお手伝いがすごく忙しいことも。田舎だからこそその人情や温かさなど、都会では失われてしまったものを見つけることができます。離島ならではの“粟島じかん”を、身体で感じて、感じたままを伝えてください。大勢の方のお問い合わせを、お待ちしております！

(8) お問い合わせ先

自治体名	粟島浦村役場	担当部署	総務課 企画係
(ふりがな)	さくま かおり	TEL :	0254-55-2111 (直通)
担当者氏名	佐久間 香織	FAX :	0254-55-2159
E-mail : project@vill.awashimaura.lg.jp			
URL : http://www.vill.awashimaura.lg.jp/			
応募宛先	〒 958-0061	新潟県岩船郡粟島浦村字日ノ見山 1513 番地 11	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-29 : 富山県^{たかおかし}高岡市

(人口 : 176,994人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

加能越バス(高岡駅前=里山交流センター)20分

(2) 事業実施の目的等

自然体験を行うことで、里山を守ることの大切さや農業の楽しさを分かち合う。
収穫や植え付けなどを通して、地域の良さを参加者と共有する。

(3) 体験の内容

高岡市里山交流センターを中心に活動。
活動例：ミニ門松・かぶら寿し作り、里山遊歩道散策・サツマイモ、枝豆、大根などの植えつけ、
収穫など

(4) 受入主体

里山活性化協議会

(5) 受入期間

4月～3月
1日程度。活動は月1回

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	自然体験を楽しみたい方
②応募締切り	随時募集(毎月の活動は里山活性化協議会に掲載) 電話にてお申込みください。
③宿泊施設	民宿など
④食事形態	イベントは昼食付です。
⑤その他	イベント内容によっては、持ち物が必要になります。 先着順のため、人数によってはお断りすることもあります。

(7) 地域担当者から一言

高岡市里山交流センターのある国吉地区は、西山丘陵を臨む自然豊かな場所です。緑豊かな里山を中心に、グリーン・ツーリズム体験をしてみませんか？
里山の散策や、たけのこのバーベキューなど普段体験できないイベントを多数行っています。
是非参加してください！

(8) お問い合わせ先

自治体名 高岡市	担当部署
(ふりがな) よしの たけし 担当者氏名 吉野 武司	TEL : 0766-31-6617 (直通) FAX : 0766-31-6618
E-mail : satoyama @p2. tcnet. ne. jp	
悠遊会 HP : http://www.senmaike.net/yuuyuu/	
里山活性化協議会 HP : http://www.senmaike.net/satoyama/index.html	
高岡市 HP : http://www.city.takaoka.toyama.jp/nosui/sangyo/norinsuisan/satoyama.html	
応募宛先 〒933-0968 富山県高岡市国吉 1324-1	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-30 : 富山県^{たかおかし}高岡市

(人口 : 176,994人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

送迎が出来るので担当者と要相談

(2) 事業実施の目的等

地域の活性化を図る。
自分の人生を見つめなおし、自然と共生した生活を送る手助けをするため。

(3) 体験の内容

農楽塾、食彩塾、創作塾に分かれて活動を行っている。
農楽塾：農業で汗を流し、自然の野菜に感謝し食事を作り、趣味の世界で交友を深める。
食彩塾：自作の野菜、山菜で楽しい食事を創作する
創作塾：ストロー工房、盆栽、竹細工、絵手紙、染め、 革、アートフラワーなどの作成を行う。

(4) 受入主体

悠遊会

(5) 受入期間

4月～3月毎月活動

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	ゆったりとした生活を送りたい方。自然に関わる活動がしたい方。
②応募締切り	随時募集 担当者と相談してください。
③宿泊施設	近隣の民宿など
④食事形態	イベントで食事が出ることがあります。 出ない場合は近隣の飲食店で食事となります。
⑤その他	国吉地区を中心に活動しています。

(7) 地域担当者から一言

悠遊会は、名前の通り、悠遊とした暮らしを目指す会です。農業や食事や竹細工といった、自然とうまく共生し、自然の恵みを大切に活動します。
そんなゆったりとした活動にあなたも参加してみませんか？楽しい仲間とゆったりとした活動を是非楽しんでください。(HPで活動を確認してください)

(8) お問い合わせ先

悠遊会 高岡市頭川2993	担当部署
(ふりがな) よしの たけし 担当者氏名 吉野 武司	TEL : 0766-24-3763 携帯 : 090-3295-7562
E-mail : zukawa1944@gmail.com	
悠遊会HP : URL : http://www.senmaike.net/yuuyuu/	
応募宛先 〒933-0978 高岡市頭川2993	吉野武司

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-3 1 : 富山県^{たかおかし}高岡市

(人口 : 176,994人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 北陸本線(高岡駅=雨晴駅)20分
送迎バス(雨晴駅=自然休養村)10分

(2) 事業実施の目的等

多くの若者等に高岡市太田の農業・自然体験をしてもらい、太田の魅力などの意見を聞いて事業などに取り入れたい。

(3) 体験の内容

高岡市自然休養村での、農作業・収穫体験などのグリーン・ツーリズムを行う。

例：ブドウ、りんご等の摘果、収穫体験（殿山農園）、さつまいも栽培（太田農園）、石焼イモづくりなど

(4) 受入主体

一般社団法人自然休養村公社

(5) 受入期間

4月～11月
1日程度(先着順)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	自然体験を楽しみたい方。
②応募締切り	随時募集(一年の活動は自然休養村 HP に記載) 電話にてお申込みください。
③宿泊施設	高岡市自然休養村にて宿泊できます。
④食事形態	高岡市自然休養村にて食事ができます。(昼食は軽食を提供。夕飯は宿泊客のみ)
⑤その他	4人以上の団体対象 小人数の場合、受け入れが出来ないこともあります。

(7) 地域担当者から一言

高岡市自然休養村（アップレハウス）のある太田地区は、富山湾越しに3,000m級の立山連峰を望む雨晴海岸をはじめ文化・歴史、古くは万葉集の息吹きを感じることができます。アップレハウスは雨晴海岸を一望でき、自然体験活動の合間には、「世界で最も美しい湾クラブ」に選ばれた壮大な雨晴海岸の風景が目に入るでしょう。このような素晴らしい立地にある高岡市自然休養村で、ブドウ摘みやサツマイモ収穫といった体験をしてみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 高岡市	担当部署 一般社団法人 高岡市自然休養村公社
(ふりがな) おおむら とものり 担当者氏名 大村 友則	TEL : 0766-44-6800 (直通) FAX : 0766-44-7818
E-mail : info@appare-house.org	
自然休養村 アップレハウス HP : http://www.appare-house.org/	
応募宛先 〒933-0133 富山県高岡市太田6566-1	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-32 : 富山県 ^{ひみし}氷見市 (人口: 約 50,000 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・ JR 氷見線 氷見駅下車 (※開催地まで送迎バスが出ます 約 15 分)
- ・ 能越自動車道 灘浦 IC から約 5 分

(2) 事業実施の目的等

- ・ 田舎暮らし体験を希望する都市住民との交流を通して地域の活性化と図るとともに、若者の定住の足掛かりとする。

(3) 体験の内容

- ・ 船釣り体験 ・ 魚さばき、大漁鍋づくり体験 ・ 灘浦みかん園農作業体験
- ・ 歴史街道散策 ・ 地引き網体験 ・ カヤック体験 ・ 講話

(4) 受入主体

氷見市宿泊推進協議会

(5) 受入期間

8月28日(金)～8月30日(日)
2泊3日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 2泊3日 宿泊代・食事代・体験料込み 15,000 円
① 要件	18 歳以上
② 応募締切り	8 月中旬
③ 宿泊施設	市内民宿
④ 食事形態	一部自炊 (魚さばきや BBQ 等)、大半は民宿での食事
⑤ その他	上限約 20 名

(7) 地域担当者から一言

海あり、山あり、そして何より食べ物がおいしい氷見を体験してください。皆さんがまた来たいと思えるような、さらには定住したいと思えるような、氷見好きになっていただければ幸いです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 氷見市役所	担当部署 企画振興部 観光・マーケティング課
(ふりがな) まえだ まさゆき 担当者氏名 前田 昌志	TEL : 0766-74-8106 (直通) FAX : 0766-74-4004
E-mail : masayuki.maeda@city.himi.lg.jp	
URL :	
応募は平成 27 年 4 月以降となります。	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 3 3 : 福井県福井市

(人口 : 267, 331 人 (H27. 1. 1 時点))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 福井駅 徒歩 1 分
(福井駅までのアクセス 東京から約 3 時間 30 分、大阪から約 1 時間 50 分、名古屋から約 2 時間)

(2) 事業実施の目的等

- ・ インターンシップや企業見学、アイデアコンテストを組み合わせた大学生向けイベントを通して、福井の企業や生活環境について知り、考える機会を通して、福井への U・I ターン就職を考えるきっかけとしてほしい
- ・ 若者にとって魅力ある職場づくりを進めるため、学生の自由なアイデアを企業の取り組みに活かしていきたい

(3) 体験の内容

- ・ 福井市の現状に関する学習会
- ・ 市内企業におけるインターンシップや企業見学
- ・ 市内企業経営者との交流会
- ・ 若者にとって魅力ある職場づくりに関するアイデアコンテスト

(4) 受入主体

福井市

(5) 受入期間

8 月中旬～9 月中旬
うちの 5 日間程度を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 無料 食事代 : 自己負担
①要件	大学生・大学院生・専門学生・短大生 (個人又は 3 名 1 組での申込み)
②応募締切り	8 月上旬
③宿泊施設	市内宿泊施設
④食事形態	自己負担
⑤その他	最終日に開催するアイデアコンテストで成績優秀だった方には福井市の特産品をプレゼントします。

(7) 地域担当者から一言

共働き率や女性の就業率が全国トップレベルの「しごと先進自治体」である福井市で、「働く」を体験し、若い人が働きやすい職場について一緒に考えてみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名	福井県福井市	担当部署	商工労働部労政課
(ふりがな)	すや やすひろ	TEL : 0776-20-5321	(直通)
担当者氏名	酢谷 泰大	FAX : 0776-20-5323	
E-mail	: rousei@city.fukui.lg.jp		
URL	: http://www.		
応募宛先	〒 910-8076		
	福井県福井市大手 3 丁目 10-1 福井市役所 労政課宛		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-34 : 福井県鯖江市 (人口: 68,960人) H27. 1. 1現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸線 鯖江駅下車 → つつじバス(コミュニティバス) うるしの里会館前下車 25分

(2) 事業実施の目的等

『鯖江には素晴らしいものがたくさんあってアナタに見つけてもらえるのを待っています』
鯖江市は、国内でも有数の眼鏡・繊維・漆器の3つの地場産業を持ち、それぞれに見学や体験が行える産業振興拠点が整備されています。また、近郊の農村では農作業体験や伝統行事への参加ができ、地域資源を満喫できる田舎暮らしプチ体験も可能です。鯖江を訪れ、地元の方々との交流を通じて鯖江ファンになっていただくことが目的のひとつです。

(3) 体験の内容

失われつつある田舎の魅力を再発見するお手伝いをしてみませんか。
・地域行事への参加と協力(11月や2月: 伝統行事、9月: モノづくりと食を体験できるまち歩きイベント)
・田舎暮らし体験(春: 田植えと山菜採り、夏: 蛍鑑賞と流しそうめん、秋: そば打ちともちつき、冬: 漬物づくりと草鞋づくり など学校では教えてくれないコトが田舎にはたくさんあります)
・地場産業体験や伝統工芸士の工房見学ができます

(4) 受入主体

市内農家民宿

(5) 受入期間

時期: 通年(月に1回ペース)
期間: 内容によりますので一度お電話ください

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費・食事代: 内容によるので一度ご相談ください
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい期日の1週間前まで
③宿泊施設	農家民宿もしくは市内宿泊施設
④食事形態	宿泊先での食事か共同自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

鯖江市では、自由な発想、旺盛な行動力を持つ学生等の若者に焦点をあて、若者との連携を重点施策として捉えています。毎年、多くの学生や若者が鯖江市を訪れ、インターンや市への施策提案、地域住民と交流を経験することにより、年々「鯖江ファン」が増加しています。是非、一度鯖江市を訪れ、鯖江の魅力を感じるとともに、地域活性化にあなたの力をお貸ください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 鯖江市	担当部署 産業環境部 農林政策課
(ふりがな) たけうち よういち 担当者氏名 竹内 陽一	TEL: 0778-53-2232 (直通) FAX: 0778-51-8153
E-mail: SC-Noseisaku@city.sabae.lg.jp	
URL: http://www	
応募宛先 〒916-8666 福井県鯖江市西山町13-1 鯖江市役所内 農林政策課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-35 : 福井県越前市 (人口: 83,762人 (H27.1.1 現在))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 武生駅下車 (東京より約3時間20分)

(2) 事業実施の目的等

「源氏物語」の作者、紫式部がただ一度都を離れて暮らした地、越前市。豊かな自然や歴史に恵まれ、1500年の伝統を誇る「越前和紙」や、700年の歴史を継承する「越前打刃物」、また江戸後期から伝わる「越前筆筒」に代表される伝統産業など、モノづくりが盛んなまちとしても知られています。また近年は、特産品である「しらやま西瓜」や越前市三大グルメ「ボルガライス・越前おろしそば、武生駅前中華そば」など、食の人気も急上昇しています。

越前市では、魅力あふれる農村地域で、農業体験や伝統産業体験、農家民宿などを通して都市部の人々と交流することにより、地域の活性化を目指しています。

(3) 体験の内容

「本格的に農業に取り組んでみたい!」「田舎暮らしを体験しながら農作業のお手伝いをしてみたい!」などなどご希望に合わせたプログラムをご用意します!

●プログラム その① お百姓さんの助っ人

越前市で活躍しているお百姓さんの助っ人をしてみませんか?農業に関心があつて、本格的に農作業に浸ろう!というタフなあなたに最適なプログラムです。

●プログラム その② 地域のイベントお手伝い

豊かな自然の中で開催されるイベントのお手伝いをしませんか?里地里山チャレンジ隊(都会の子どもと越前市内の子どもの交流・8月)や冬のいろりばた(2月)などのイベント運営をお手伝いしてみたい好奇心旺盛なあなたにおススメのプログラムです。

(4) 受入主体

ロハス越前 (TEL/FAX. 0778-43-0879)
(E-mail info@lohas-echizen.org)

(5) 受入期間

通年(農作業やイベントの時期や内容によりま
すので、一度お電話ください。)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 3,000円~5,000円(作業内容により宿泊費が異なります) 食事代: 朝、夕食は無料 昼食は1食500円
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい期日の1週間前まで
③宿泊施設	市内の農家民宿
④食事形態	宿泊先での食事
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

毎年、多くの大学生が越前市に訪れ、農業体験などを通じて地元の人々と交流を深めています。越前市の里地里山には、都会にはない農村の宝をいたるところで見つけることができます。越前市ならではの魅力を地元の人と一緒に探し、共有する楽しさを直に感じてみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 越前市役所	担当部署 産業環境部 農政課 振興グループ
(ふりがな) どい ともみ 担当者氏名 土井 朋美	TEL : 0778-22-3009 (直通) FAX : 0778-23-9907
E-mail : nousei@city.echizen.lg.jp	
URL : http://www. http://lohas-echizen.org/ (ロハス越前ホームページ)	
応募宛先 〒915-0242 福井県越前市粟田部町9-1-9 越前市今立ふれあいプラザ内 ロハス越前	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-36 : 長野県小海町 (人口: 4,945人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小海線 小海駅
・長野新幹線 東京駅から佐久平駅(約1時間20分) → ・小海線 佐久平駅から小海駅(約40分)

(2) 事業実施の目的等

地方では経済の衰退、高齢化、過疎化が深刻な問題となっており、現状を打破し、地域がこれからも存続していくためには、一人でも多くの人材を雇用し、育成することが求められていると考えています。

そこで小海町を活動の場として、町の農業・林業・商業・観光業など様々な職の場を体験してもらい、人口減少等により、地域の活力を失い、また、労働等の担い手、後継者不足といった課題を抱える地方の解決を図るため、地域の住民やインターンシップ参加者等の交流を通して、地域を実感し、新たなものを創出することを目的とします。

(3) 体験の内容

研修期間は1期間を1週間とし、受付けは随時、受付けます。

○農業体験(主に白菜、レタス、キャベツ等の高原野菜各農家)

- ・土づくり(4月~5月) ・畝立て、マルチ張り(5月) ・育苗(4月~8月)
- ・定植(4月~8月) ・収穫(6月~10月) の体験及び技術の習得

○林業体験(森林組合)

- ・地拵え、植え付け ・下刈り ・除伐 ・間伐 ・主伐 の体験及び技術の習得

○商業部門

- ・豆腐店

1大豆洗浄 2浸漬 3粉碎 4煮沸 5ろ過(おから分離) 6凝固
7カット 8水さらし 9パック詰 10配達 の体験及び技術の習得

- ・パン屋

1材料準備 2生地を作る 3第一発酵 4分割・丸め 5ベンチタイム

6成形・型詰め 7第二発酵 8焼成 9販売といった製造工程の体験及び技術の習得

- ・他にジャム加工者、養蜂店、飲食店、建設業者、観光宿泊業

などを体験してもらい、地域づくりへの提言をいただきます。

(4) 受入主体

小海町

(5) 受入期間

平成27年4月1日(水)~
平成28年3月18日(金)
日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	小海町の負担分・・・宿泊費、損害保険代 参加者負担分・・・上記以外（現地までの交通費、食事代など）
①要件	小海町での暮らしに興味のある方、農林商業等を体験してみたい方、地域活性化に興味のある方
②応募締切り	平成 28 年 2 月 29 日
③宿泊施設	民宿及び旅館
④食事形態	民宿及び旅館では、朝食、夕食は用意できますが、自己負担となります。 昼食は各自
⑤その他	・作業ができる用意してください。

(7) 地域担当者から一言

町内の農家さん、林業経営者、パン家さん・豆腐店等商業を営む店舗等の元で、小海町での仕事を体験してもらいます。高原のきれいな空気のなかで仕事をしてみませんか。小海町ではあなたのやる気と地域づくりの提言を必要としています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小海町役場	担当部署 総務課 企画係
(ふりがな) いで ともよし 担当者氏名 井出 智善	TEL : (代表) 0267-92-2525 (内線) 141 FAX : 0267-92-4335
E-mail : koumi@koumi-town.jp	
URL : http://www.koumi-town.jp	
応募宛先 〒 384-1192 長野県南佐久郡小海町大字豊里 57-1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-37 : 長野県 飯島町 (人口: 9,801人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

中央高速橋バス 飯島バス停 【東京方面】新宿バスターミナルから約3時間30分
【名古屋方面】名鉄バスセンターから約2時間30分

(2) 事業実施の目的等

【信州伊那里泊覧会「イーラ」】

多様な地域資源を地域住民が案内人となって、体験交流を行うことで、全国の大学生・若者の皆さんに伊那谷や南信州を通じて、地方や田舎の魅力や課題を感じていただき、第二のふるさとや移住・交流の舞台として募っていただければ幸いです。

(3) 体験の内容

【例】

- 1日目: 午後1時～ プチ農業体験と生き物環境調査
- 2日目: 地域食材を使った食体験(かまどでご飯を炊いて食べよう) など

(4) 受入主体

NPO伊那里イーラ

(5) 受入期間

通年、2日間～(要相談)
※季節によって体験内容が異なります。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 実費 宿泊費: 実費 食事代: 実費 体験参加費: 5,000円～
①要件	概ね5名以上のグループ(1泊2日～)
②応募締切り	概ね体験希望日の2週間前(随時受け付け)
③宿泊施設	町内及び近隣の宿泊施設・体験交流施設
④食事形態	自炊等(体験交流プログラムに食事が含まれるものもあります)
⑤その他	これまで実施したプログラムは100以上!メニューや詳しい内容につきましては、末尾の応募宛先までお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

長野県飯島町とその周辺地域の地域資源を前面に出した、自然や暮らしにまつわる体験プログラムを企画運営しています。ここに住む人だからこそ伝えることのできる田舎の魅力を存分に体験してください!

(8) お問い合わせ先

自治体名	長野県 飯島町	担当部署	産業振興課 定住促進室
(ふりがな)	はやし なりあき	TEL:	0265-86-3111(内線121・122)
担当者氏名	林 成昭	FAX:	0265-86-6781
E-mail:	iiteijyuu@town.iijima.lg.jp		
URL:	http://www.town.iijima.lg.jp		
応募宛先	〒399-3702 長野県上伊那郡飯島町飯島2414-1(担当:小林正明)		
	TEL: 0265-96-0103 / URL: http://www.gqrakuen.net/iila		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 3 8 : **岐阜県御嵩町** (人口 : 18,900 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

名古屋鉄道広見線 御嵩駅下車 徒歩約 10 分

(2) 事業実施の目的等

町域の約 60%を山林が占め、希少動植物が生息する貴重な自然環境を有する里山のまちです。農業体験や里山保全体験などを通じて、地域住民と交流をすることで、地域の活性化に向けたきっかけづくりを図ることを目指しています。

(3) 体験の内容

- 農林業体験
化学農薬・肥料に頼らず、古くから伝わる伝統的な手法を取り入れた農法などを学びます。
- 里山保全体験
里山をフィールドにして、地域の森林を守る活動などを学びます。
- 政策提案等報告会の実施
まちへの政策提案や地域での体験活動の報告会を行います。等々

(4) 受入主体

御嵩町

(5) 受入期間

概ね 6 月～11 月 1 週間から 10 日程度
※参加者と要相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担（無料の場合あり） 食事代：自己負担
①要件	地域づくりに興味がある大学生・大学院生 ※公共交通機関を利用してご来町ください。
②応募締切り	希望日の概ね 1 か月前までに、メール等でご相談ください。
③宿泊施設	農家民泊、公共施設等
④食事形態	宿泊先が提供、公共施設で自炊
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

学生のみなさんが活動を通じて、新たな人とのつながりを構築したり、さまざまな知識を習得できるようサポートしていきたいと思えます。ぜひ町に足を運んでいただき、“御嵩町のファン”になってください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 御嵩町	担当部署 総務部まちづくり課まちづくり推進係
(ふりがな) おぐら たつのぶ 担当者氏名 小倉辰信	TEL : 0574-67-2111 (内線 2235) FAX : 0574-67-1999
E-mail : matidukuri@town.mitake.lg.jp	
URL : http://www.town.mitake.gifu.jp/index.cfm	
応募宛先 〒505-0192 岐阜県可児郡御嵩町御嵩 1 2 3 9 番地 1	御嵩町まちづくり課 あて

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-39 : ^{ごてんばし} 静岡県御殿場市 (人口: 89, 231人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR御殿場線・御殿場駅 御殿場駅より徒歩5分
 高速バス(東京方面) 新宿駅西口より小田急箱根高速バス 御殿場駅下車 徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

事業名: 御殿場わらじ祭り
 ・御殿場独自の歴史的・文化的な背景を持つ、御殿場わらじ祭りに参加していただき、地域活性化及び観光振興に繋げていきたい。

(3) 体験の内容

御殿場わらじ祭り内で実施している「わらじ神輿」への参加
 ～わらじ神輿～
 御殿場地方に伝わる、「わらじ」を編める娘は良縁に恵まれたという古くからの云われから、良縁を祈願する女性のみで担ぐ、女神輿です。

(4) 受入主体

御殿場わらじ祭り実行委員会
 (事務局: 御殿場市商工観光課)

(5) 受入期間

7月11日(土)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 ※宿泊希望の場合は、宿泊施設の紹介可 食事代: 夕食は実行委員会より支給
①要件	女性
②応募締切り	6月中旬 ※詳細は決定次第、公式ホームページ等に掲載します。指定申込書(公式HPに掲載)に記入後、FAX・メールまたは郵送にて応募ください。
③宿泊施設	宿泊希望の場合は、宿泊施設を紹介します。
④食事形態	夕食は実行委員会が軽食を用意
⑤その他	ハッピー等の衣装は実行委員会が準備。詳細は申込み後に参加者に連絡します。

(7) 地域担当者から一言

世界遺産・富士山の麓、御殿場で、富士山の開山を祝い、富士山の安全、健脚祈願、そして、女性の良縁を祈念して開催されるお祭りです。多くの若者に参加してもらい、祭りの活性化、そして地域の活性化に繋がりたいと思います。ご参加お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 御殿場市	担当部署 産業部 商工観光課 富士山・観光室
(ふりがな) たけうち やすひろ 担当者氏名 竹内 尉浩	TEL: 0550-82-4622 (直通) FAX: 0550-84-3286
E-mail: kanko@city.gotemba.shizuoka.jp	
URL: http://www.gotemba-waraji.com	
応募宛先 〒412-8601 静岡県御殿場市萩原483 御殿場市商工観光課内 御殿場わらじ祭り実行委員会事務局 宛	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-40 : 静岡県御殿場市 (人口: 89, 231人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR御殿場線・御殿場駅 印野本村行きバス 富士山樹空の森下車

(2) 事業実施の目的等

日本最大級の和太鼓「富士山」を使い、太鼓演奏の腕を競う「大太鼓富士山一人打ちコンテスト」と「高校生太鼓甲子園」の2本柱を中心とした太鼓まつりを開催、富士山エリアへ県内外からの誘客を図り観光振興に寄与する。

(3) 体験の内容

- ・会場内でのボランティア活動
- ・和太鼓の音や和太鼓そのものに触れ伝統芸能に親しむ

(4) 受入主体

富士山太鼓まつり実行委員会
(事務局: 御殿場市観光協会)

(5) 受入期間

7月25日(土)～7月26日(日)
2日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 ※宿泊施設の紹介は可 食事代: 弁当支給
①要件	伝統芸能に興味のあるかた
②応募締切り	平成27年7月10日(金)
③宿泊施設	なし(要相談)
④食事形態	昼食のみ(会場内で支給)
⑤その他	動きやすい服装で来てください。

(7) 地域担当者から一言

30回の記念大会を迎える「富士山太鼓まつり」には今年も全国各地で和太鼓を演奏している参加者が集まります。レベルの高い演奏技術を体験してみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 御殿場市	担当部署 産業部 商工観光課 富士山・観光室
(ふりがな) はなわ けいこ 担当者氏名 花輪 恵子	TEL: 0550-82-4622 (直通) FAX: 0550-84-3286
E-mail: kanko@city.gotemba.shizuoka.jp	
URL: http://fujitaiko.com/	
応募宛先 〒412-0043 静岡県御殿場市新橋1988 御殿場市観光協会内 富士山太鼓まつり実行委員会事務局 宛	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 1 : ^{ごてんばし}静岡県御殿場市 (人口: 約 89, 231人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR御殿場線・御殿場駅下車 会場直通シャトルバス
高速バス: (東京方面) 新宿駅西口から小田急箱根高速バス 御殿場駅下車 直通シャトルバス

(2) 事業実施の目的等

事業名: 第7回ごてんばアート・クラフトフェア
1. 全国のアーティスト、クラフト作家を応援したい。
2. 子供たちに夢を与えたい。(10年後、20年後のアーティスト、クラフト作家を育てたい)
3. 静岡県東部ライフを楽しみたい。

(3) 体験の内容

- ・ごてんばアート・クラフトフェアへのボランティア参加
- ・市民、出店者、来場者との交流
- ・クラフト・アート、ワークショップ体験
- ・会場準備、片付け (18日: 準備 21日: 片付け)

(4) 受入主体

ごてんばアート・クラフトフェア実行委員会

(5) 受入期間

9月18日(金)～9月21日(月)
最大3日～4日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 ※宿泊施設は紹介可 食事代: 弁当支給
①要件	元気があればどなたでも、好奇心旺盛な方大歓迎
②応募締切り	9月上旬予定 住所・氏名・連絡先を volunteer@g-kuranosuke.jp 宛てに送ってください。 ※詳細は今後、公式HP・FBに掲載予定。
③宿泊施設	なし(要相談)
④食事形態	フェア中の昼食は弁当支給。
⑤その他	オリジナルTシャツを支給します。動きやすい服装できてください。

(7) 地域担当者から一言

当フェアは、「来場者だけでなく、ボランティアスタッフや実行委員も楽しんでしまおう!」というイベントです。アートに触れて楽しんでください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 御殿場市	担当部署 産業部 商工観光課 富士山・観光室
(ふりがな) たけうち やすひろ 担当者氏名 竹内 尉浩	TEL: 0550-82-4622 (直通) FAX: 0550-84-3286
E-mail kako@city.gotemba.shizuoka.jp	
URL: http://www.g-kuranosuke.jp	
応募宛先 〒412-0045 静岡県御殿場市川島田1706-6 HAPTIC HOUSE 長尾 宛	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 2 : 滋賀県栗東市 (人口: 67,270人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

栗東市役所まで
JR草津線 手原駅下車 徒歩10分

(2) 事業実施の目的等

- ・若者と地域住民との交流、意見交換を通して、自分たちのまちについて見直す機会を作り、今後のまちづくりの進め方等を検討する上での一助とする。
- ・若者の視点からの新鮮な意見が加わることにより、会議等の活性化を図る。

(3) 体験の内容

- ・地域住民が主体となって実施される景観イベントの準備、及び実践
- ・その他、市が関連する景観啓発活動への参加

(4) 受入主体

栗東市

(5) 受入期間

10月
(地域のイベント時期等を考慮し受入)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	地域の景観まちづくり活動に興味があり、積極的に取り組める方。
②応募締切り	8月末まで
③宿泊施設	市内周辺の宿泊施設
④食事形態	各自
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

「栗東市や地域の景観づくりに興味がある」、「地域の方と一緒にイベントを作っていきたい」という学生の方は、ぜひご相談ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 栗東市	担当部署 建設部 都市計画課 景観まちづくり係
(ふりがな) つだ たかひこ 担当者氏名 津田 貴彦	TEL: 077-551-0116 (直通) FAX: 077-552-7000
E-mail: toshikeikaku@city.ritto.lg.jp	
URL: http://www.city.ritto.shiga.jp/	
応募宛先 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号 栗東市役所 都市計画課 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-43 : 京都府綾部市 (人口: 33,970人) 推計人口 (2015年2月1日現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR綾部駅に下車後、市営あやバス「綾部駅南口」バス停からあやバス西坂線に乗車、26分で「かじや」バス停にて下車 (綾部市里山交流研修センターは「かじや」バス停すぐ)

(2) 事業実施の目的等

綾部市里山交流研修センターは過疎化に伴い閉校となった小学校を再活用し地域振興に役立てている。センターの指定管理者「里山ねっと・あやべ」では「綾部里山交流大学」を実施して都市農村交流と人材育成に役立てている。近隣の「京都丹州木材市場」で2015年10月10日(土)に地元材普及のため「京都丹州もくもくフェスタ」が開催されるのを機に、フェスタの見学などを通じて、秋の里地里山を体験いただきたい。

(3) 体験の内容

- ・里山ねっと・あやべの近く「京都丹州木材市場」の「京都丹州もくもくフェスタ」を見学し地元材の価値を楽しく学ぼう
- ・「京都丹州もくもくフェスタ」の会場設営や後片付けを通じてイベント運営に貢献しよう
- ・薪や炭で調理するアウトドア料理で里山の燃料を使う意義を実感しよう
- ・体験内容にもとづき里山や地元材の意義を情報発信しよう

(4) 受入主体

綾部里山交流大学
(事務局=里山ねっと・あやべ)

(5) 受入期間

2015年10月9日(金)~11日(日) 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 体験料：自己負担 ※大学ゼミの予算や企業の研修予算など団体予算での参加歓迎
①要件	都市農村交流や里山再生、田舎での持続可能な暮らしに関心のある5名以上のグループ(大学生・大学院生、大学教官、ゼミ旅行、企業のCSR担当部署、里地里山や廃校活用に関心のあるNPO団体など)
②応募締切り	2015年6月30日(火)
③宿泊施設	綾部市里山交流研修センター
④食事形態	自炊もしくは調理提供いずれも可能
⑤その他	最小催行人員5名 上限20名 グループ(ゼミや団体)での参加を優先

(7) 地域担当者から一言

この企画を通じて里山の価値を全身で実感し、綾部という土地の魅力に触れて、綾部の地域再生を担うサポーターになってください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 綾部市	担当部署 定住交流部 観光交流課 係(グループ)
(ふりがな) しらはせ まさひこ 担当者氏名 白波瀬 正彦	TEL: 0773-42-3280 (内線326) FAX: 0773-42-4406
E-mail: daigaku@satoyama.or.jp	
URL: http://ayabesatoyamacollege.net	
応募宛先 〒623-0235 京都府綾部市鍛冶屋町茅倉9里山ねっと・あやべ内 綾部里山交流大学事務局 電話: 0773-47-0040 FAX: 0773-47-0084	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

すもとし

No.- 4 4 : 兵庫県洲本市 (人口 : 46,522 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR新神戸、三ノ宮、舞子等から淡路島行き高速バスで約90分の「洲本バスセンター」「五色バスセンター」下車

(2) 事業実施の目的等

学生、教員等の活力や知見を活用して、地域の豊かな自然と文化、農漁業と食、再生可能エネルギー等の地域資源の発掘と、その有機的な連携によるツーリズム等の事業スキーム構築を行うことで「あわじ環境未来島構想」の実現等に寄与することを目的としています。

(3) 体験の内容

大学の実習フィールドとして、リクエストに応じて幅広いプログラムをご用意します。

- ・各種農漁業体験
- ・古民家改修
- ・ゲストハウス建設
- ・アートによるまちづくり
- ・地域のイベントへの参画
- ・地域住民との意見交換等を通じた村おこしに関する提言や実践 など

(4) 受入主体

洲本市
洲本市域学連携推進協議会

(5) 受入期間

随時、要相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 宿泊費： 要相談 食事代：
①要件	大学生または大学院生
②応募締切り	随時
③宿泊施設	農家民泊、公共施設、ゲストハウスなど
④食事形態	要相談
⑤その他	実習内容や各種条件など、お気軽にお尋ねください。

(7) 地域担当者から一言

総務省「域学連携」事業の一環で、平成25年度より大学生の受け入れを行っています。地域のニーズと大学のやりたいことをうまくマッチングさせ、有意義な実習が行えるようしっかりサポートします。

(8) お問い合わせ先

自治体名 洲本市	担当部署 農林水産部 農政課 農村振興係
(ふりがな) たかはし はじめ 担当者氏名 高橋 壱	TEL : 0799-33-1924 (直通) FAX : 0799-33-1144
E-mail : Hajime_Takahashi@city.sumoto.lg.jp	
URL : http://www.city.sumoto.lg.jp/front/index.php/sitemap/org/pid/15/did/25/cid/79/oid/132	
応募宛先 〒656-1395 兵庫県洲本市五色町都志 203	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-45 : 奈良県吉野郡下市町 (人口: 6,143人) 2015年1月現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄吉野線 下市口駅下車 奈良交通バス利用

(2) 事業実施の目的等

若い人に下市町の良さを体感してほしい。
 吉野郡の歴史に興味を持ってほしい。
 農林業に興味を持ってほしい。

(3) 体験の内容

- ◆農林業学校の開校：農業・林業についての座学と実技の講習を週末に実施。(原則日帰り)
- ◆農業体験・林業体験・山歩き(時期による)
- ◆地域イベント(盆踊り等の夏祭りや、夏の物産展)への参加

(4) 受入主体

下市町役場 地域づくり推進課

(5) 受入期間

7月~9月 月二回(週末)

(6) 応募上の注意

※費用負担	受講費：1,500円 現地までの交通費：実費(駅からの送迎有) 食事代・宿泊代：実費(宿泊費用7,100円~)
① 要件	20歳以上の大学生及び大学院生で、田舎・農林業に興味がある又は田舎の暮らしを体験してみたい人。
② 応募締切り	適時対応 参加申込書に必要事項を記入の上、地域づくり推進課まで郵送、FAX、メールをお願いします。
③ 宿泊施設	やすらぎ村 キャンプ場
④ 食事形態	昼食持参(日帰り)、全食事は自炊(宿泊)
⑤ その他	作業ができる服、靴、帽子、手袋、雨具をご用意下さい。

(7) 地域担当者から一言

若い人の感性で、下市町の大自然を楽しんで下さい。

(8) お問い合わせ先

下市町役場	地域づくり推進課
(ふりがな) あきや なみ	TEL : 0747-52-0001
担当者氏名 秋谷 奈美	FAX : 0747-54-5055
E-mail : kikaku@town.shimoichi.nara.jp	
URL : http://www.town.shimoichi.nara.jp/index.html	
応募宛先 〒638-8510	
奈良県吉野郡下市町大字下市1960番地 地域づくり推進課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かわかみむら

No.- 4 6 : 奈良県川上村

(人口 : 1 6 0 0 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄吉野線大和上市駅下車 奈良交通バス「湯盛温泉杉の湯」行 川上村役場下車
所要時間 : 大和上市駅よりバスで約30分

(2) 事業実施の目的等

山村での生活体験がない都市部の若者に体験機会を提供し、外部から見た川上村の取り組みについて提案・提言をしていただき、「水源地の村づくり」や若者の定住施策に活かしていきたい。また、事業実施後も川上村の応援団として村づくりに関わってもらいたい。

(3) 体験の内容

- ・吉野林業について
- ・源流地域の自然や暮らしについて
- ・地域のイベントへの参加、手伝い(盆踊り等)

※体験内容はできる限り参加者の意向に沿って組み立てます。

(4) 受入主体

川上村	(5) 受入期間 8月初旬~中旬 14日間
-----	--------------------------

(5) 受入期間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 費用相当分の補助あり
① 要件	地域づくりに興味のある方
② 応募締切り	7月10日(金)(定員を超えた場合は審査を行います) 指定の参加申込書及び小論文(HP参照)を下記応募先まで郵送して下さい。
③ 宿泊施設	村宿泊施設(共同生活)
③ 食事形態	自己負担(共同調理・弁当等)
④ その他	川上村地域づくりインターンHPをご覧ください。 詳細は担当者にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

川上村は奈良県の南東部に位置し、吉野川・紀の川の源流にあたる水源地の村です。過疎問題、源流地域の再生、移住、定住促進に力を入れ取り組んでいます。また林業や環境などに興味のある方、私たちと一緒に新しい地域づくりに取り組んでみませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名	川上村	担当部署	水源地課
(ふりがな)	もりもと ともみ	TEL : 0746-52-0111	(内線) 21
担当者氏名	森本 倫巨	FAX : 0746-52-0345	
E-mail : suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp			
URL : http://www.vill.kawakami.nara.jp/intern/		川上村地域づくりインターンHP	
http://www.vill.kawakami.nara.jp/		川上村HP	
応募先	〒639-3594	奈良県吉野郡川上村大字迫 1335-7 川上村役場 水源地課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. - 4 7 : 和歌山県田辺市 (人口 : 7 9 , 1 1 9 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 紀伊田辺駅下車 徒歩 1 0 分

(2) 事業実施の目的等

漁業の担い手としての定着・就業

(3) 体験の内容

面談 (受け入れ漁協・講師)
漁業乗船 (漁の準備から後片付けまで研修)

(4) 受入主体

田辺市水産振興会

(5) 受入期間

4 月 1 日 ~ 2 月末日まで

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担 食事代 : 自己負担
①要件	15歳以上50歳未満の方 (未成年の場合は保護者の同意が必要) 真剣に漁業に就業したいと考え、専業での漁業就業を目指す方
②応募締切り	平成28年2月末日 指定の申込書及び市販の履歴書 (写真添付) を事務局まで送付してください
③宿泊施設	
④食事形態	各自ご用意ください
⑤その他	着替え、タオル、カッパ、長靴、軍手、弁当、飲み物など準備してください

(7) 地域担当者から一言

漁業を職業として、地域に定着しようとする方にきっかけを提供します

(8) お問い合わせ先

自治体名 田辺市	担当部署 産業部 水産課 水産係
(ふりがな) なかしば 担当者氏名 中 芝	TEL : 0739-26-9932 (直通) FAX : 0739-22-9898
E-mail : suisan@city.tanabe.lg.jp	
URL : http://www.city.tanabe.lg.jp	
応募宛先 〒 646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町 1 番地 田辺市役所水産課 (田辺市水産振興会事務局)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-48 : 和歌山県田辺市 (人口: 79, 119人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JRきのくに線 紀伊田辺駅下車 龍神バス (龍神線・西原線)上秋津バス停下車 徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

田辺市では受入れ主体である秋津野ガルテンに委託し、地域の農家への研修などを行うワーキングホリデーを実施しています。

この農作業体験により田辺地域の農業に魅力を感じた青年が農地を取得したり借入を行って定着・就農し、田辺地域の農業者数が増加してくれることを期待しています。

(3) 体験の内容

梅・みかんの農作業
梅・みかんの加工体験。

(4) 受入主体

秋津野ガルテン (上秋津地区)

(5) 受入期間

平成27年6月、8月、9月、1月中
2～3日間予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 要相談 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	学生及び企業等
②応募締切り	平成27年度 6月、8月、9月、1月、受入計画あり
③宿泊施設	農家民泊及び秋津野ガルテン宿泊施設
④食事形態	農家民泊・秋津野ガルテン、双方共に要相談
⑤その他	汚れても良い服装用意(長袖長ズボン、長靴等動きやすい靴)、帽子、水筒、雨具など。

(7) 地域担当者から一言

上秋津は、古くから農業の盛んな地域で、農業の形態は、周年収穫体制が整っており、一年中みかん類が収穫出来ます。また、紀州南高梅の産地でもあり、6月は早朝より南高梅の収穫を行います。上秋津の農業の形態を活かし、周年、農業体験学習の受入を始めたいと考えています

(8) お問い合わせ先

直接受入れ主体へお問合せください 受入れ主体名: 秋津野ガルテン	
(ふりがな) 担当者氏名	TEL: 0739-35-1199 FAX: 0739-35-1192
E-mail: info@agarten.jp	
URL: http://agarten.jp	
応募宛先 〒646-0001 和歌山県田辺市上秋津 4558-8	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. - 4 9 : 和歌山県紀美野町(きみの定住を支援する会) (人口: 9,803人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、コミュニティーバスで神野市場下車
JR 海南駅から登山口まで約 30 分、登山口から神野市場まで 20 分

(2) 事業実施の目的等

豊かな自然に囲まれ、昔ながらの山の中の農村として暮らしを営んできた地域で、用意されたプログラムを体験するのではなく、参加者の「やりたいこと」をお聞きして地元の普段の生活、仕事に入り込んで体験ができる企画です。「農作業」「農家民泊、宿泊施設」「地域イベント」「カフェ」等、地域のお手伝いを通じて「ほんまものの田舎暮らし」を体験してみたい方を募集します

(3) 体験の内容

農作業のお手伝い、農家民泊のお手伝い、緑花木の手入れ、地域イベントのお手伝いなど
ご希望の体験内容・参加日程をお聞きして、その時期に実施できる体験プログラムを調整します。
ただし、時期によっては実施できない作業もございますので、詳しくはお問い合わせください。

(4) 受入主体

特定非営利活動法人
きみの定住を支援する会

(5) 受入期間

4月1日(水)～3月31日(木)
1年の内の希望期間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料（きみの定住を支援する会で用意します） 食事代：自己負担※
① 要件	自然・田舎が好きで健康な人、コミュニケーション好きでまわりと協調して行動できる人、できれば運転免許を持っている人（交通手段がとても不便なため）
② 応募締切	滞在期間希望日の3週間前まで 指定の参加申込書に必要事項記入の上、受け入れ団体まで郵送してください。
③ 宿泊施設	定住体験施設 木市 など町内施設
④ 食事形態	自己負担（※体験施設にて自炊可能）
⑤ その他	1週間のショートステイ、または2週間以上の長期間滞在者を希望します 詳しくは電話、メールにて対応させていただきます。

(7) 地域担当者から一言

紀美野町では就農・定住の総合帰住事業を行っています。地域の方と一緒に汗をかいて、がっつりと本当の田舎暮らしを体験してみませんか？将来就農・起業したい、田舎で働きたいと考えている方や、地域づくりについて学びたいと考えている方にオススメです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 紀美野町	担当部署 産業・建設室
(ふりがな) にしおかやすみち 担当者氏名 西岡 靖倫	TEL : 073-495-2339 直通 FAX : 073-495-2339
E-mail : nishioka-y@town.kimino.lg.jp	
URL : http://www3.plala.or.jp/kiminoteiju/index.html	
応募宛先 〒640-1243 和歌山県海草郡紀美野町神野市場 226-1	きみの定住を支援する会事務局

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-50 : 和歌山県紀美野町(セミナーハウス未来塾) (人口 : 9,803 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR きのくに線海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、コミュニティバスで紀美野町国吉診療所前へ 海南駅から登山口まで約 30 分 登山口から国吉診療所前まで 26 分

(2) 事業実施の目的等

過疎化・高齢化が進む紀美野町が元気になるように
 里山体験・交流施設「セミナーハウス未来塾」が活気づくように
 一緒に汗をかきながらアイデアを注入してくれる皆さんを募集します。

(3) 体験の内容

①セミナーハウス未来塾の仕事全般 ②セミナーハウス未来塾周辺の町有林の保全
 ③自然体験、野外活動などの企画、サービス提供 ④レクリエーションプログラムの企画、提供
 ⑤農村、里山の情報発信 ⑥エリアツーリズムインフォメーションの整備 など

(4) 受入主体

紀美野町セミナーハウス未来塾
 (<http://www.kimino.jp/miraijuku/>)

(5) 受入期間

7月17日(金)～ 8月31(月)の間の2週間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：食事形態欄を参照
①要件	○仲間と話し合ってアイデアを出し一緒に行動できる人 ○健康で自然が好きな人 (できれば運転免許を持っている人)
②応募締切り	滞在開始希望日の3週間前まで 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、受入団体まで郵送して下さい。
③宿泊施設	紀美野町セミナーハウス未来塾
④食事形態	滞在期間中はまかない料理を提供 (提供できない場合は当館規定金額を支払います。自炊可。)
⑤その他	2週間(最低でも10日)以上の滞在者を希望します。

(7) 地域担当者から一言

大自然の山里で心を込めた精一杯の接客体験と
 自らのアイデアで過疎化の地域を活性化する体験が得られますよ！

(8) お問い合わせ先

自治体名	紀美野町	担当部署	紀美野町セミナーハウス未来塾
(ふりがな)	ひらいつぐじ	TEL :	073-498-0521 (直通)
担当者氏名	平井二嗣	FAX :	073-498-0531
E-mail : miraijyuku@kimino.jp			
URL : http://www.kimino.jp/miraijyuku/index.html			
応募宛先	〒640-1363 和歌山県海草郡紀美野町田 25 番地 紀美野町セミナーハウス未来塾 (平井宛)		

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-5 1 : ^{ひ だかがわちょう}**和歌山県日高川町** (人口: 10, 414人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR新大阪駅から特急電車でJR御坊駅まで約100分。御坊駅から車で30分。
 (路線バスで高津尾バス停まで約50分。徒歩3分)
 大阪から近畿自動車道や阪和自動車道を経て川辺ICへ。川辺ICから約15分。

(2) 事業実施の目的等

都市農村交流が盛んな町で地域づくりに参加しませんか?
 日高川町では、不定期で学生さんが調査や農作業の手伝いに来て、新しい視点や提案により地域活性化につながっています。地域での取り組みを学んでいただき、地域で活動にすることによって、町に元気をもたらしてくれることを期待しています。

(3) 体験の内容

- ・体験型観光受入れの手伝い。(農業体験、間伐体験、手作り体験、民泊体験など。)
- ・ゆめ倶楽部21の事務の手伝い。
- ・農業や地域行事のお手伝い。

(4) 受入主体

ゆめ倶楽部 21

(5) 受入期間

7月～10月の期間で
 (2泊3日から1週間程度)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：1/2補助 (予算に上限有り) 食費：自己負担
①要件	大学生及び大学院生で、田舎や人とのふれあいが好きな方。研究意欲が旺盛な方。(受入人数に制限があり、希望に添えない場合があります。)
②応募締切り	できれば滞在希望日の1ヶ月前までをお願いします。
③宿泊施設	農家民泊「風呂谷ビレッジ」(1泊3千円)ほか
④食事形態	基本的に自炊。(食事付きの農家民泊もあります。)
⑤その他	作業ができる服装をご用意ください

(7) 地域担当者から一言

本町は都会からの移住者が多い町です。地元住民と移住者が協働して地域づくりに取り組む「ゆめ倶楽部21」との交流は価値あるものと思います。また、農家の普段の生活や集落自治がままならない地域をそのまま体験していただき調査研究を深めていただければと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 日高川町	担当部署 ゆめ倶楽部 21 (企画政策課内)
(ふりがな) とよしま のりお 担当者氏名 豊嶋 法雄	TEL : 0738-54-0338 (直通) FAX : 0738-54-0174
E-mail : yumeclub@town.hidakagawa.lg.jp	
URL : http://yumeclub21.hidakagawa.jp/ ブログ : http://yumeclub21.269g.net/	
応募宛先 〒644-1122 和歌山県日高郡日高川町大字高津尾 718-3 日高川交流センター内	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-52 : 広島県江田島市 (人口: 25,454人) ※H27.2.1 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

広島駅～〔バス又は電車〕～広島港～〔高速船〕～江田島市(中町港)又は、
 山陽自動車道 高屋JCT～〔東広島呉道路〕～呉市～〔第2音戸大橋・早瀬大橋〕～江田島市

(2) 事業実施の目的等

体験型修学旅行の受入や定住促進事業を通し、交流や地域づくりを考えていただく。
 また、SNSでの発信等の情報発信をし、過疎地のPRの手法を考えていただく。
 都市の若い学生の考えから、まちづくりのヒントや情報を得たい。

(3) 体験の内容

- ・体験型修学旅行の受入の補助
- ・定住促進事業の補助
- ・その他情報発信等

(4) 受入主体

江田島市

(5) 受入期間

9月下旬～11月上旬の間で2～3週間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	・地方での活動や地域づくり、空き家問題に関心があり、自主的に取り組むことのできる意欲と行動力のある学生 ・募集人員：最大2名
②応募締切り	8月末
③宿泊施設	市施設、民宿、旅館
④食事形態	宿泊先等で提供
⑤その他	島内移動の手段として、自転車をお貸しすることはできます。

(7) 地域担当者から一言

修学旅行生とのふれあいや地元住民と移住者との交流が主です。江田島での体験を通じ、コミュニケーション能力を高め、就職活動や今後の生き方に活かしましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名 江田島市	担当部署 企画部 交流促進課
(ふりがな) うしろ しゅうじ 担当者氏名 後 修司	TEL : 0823-40-2785 (直通) FAX : 0823-40-2072
E-mail : kouryuu@city.etajima.hiroshima.jp	
URL : http://www.city.etajima.hiroshima.jp	
応募宛先 〒737-2392 広島県江田島市能美町中町 4859-9	

若者の地方体験交流 募集概要（案）
（費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください）

No.-53 : ^{いわくにし みわまち} 山口県岩国市（美和町）（人口：141,636人(4,247人)）

（1）最寄りの交通機関と所要時間

飛行機：岩国錦帯橋空港一車で約45分 電車等：新岩国駅下車一車で約20分、岩国駅下車一車で約40分

（2）事業実施の目的等

若者の受入れ地域住民との交流等を通じて、外部の若者から見た地域評価を参考にすることにより地域活性化を図るとともに、弥栄湖周辺地域の特色を活かした体験交流プログラムやイベントの開発を行なうことを目的とする。

（3）体験の内容

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・地域行事への参加、やさかの手伝い、農作業体験等・弥栄湖周辺の調査及び観光資源の再発掘・体験交流プログラムやイベントの提案・提言 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

（4）受入主体

弥栄湖を育む会

（5）受入期間

7月初旬～8月下旬の7日間程度

（6）応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：自炊
① 要件	地域づくりや観光振興に興味があり、地域の住民と積極的に交流ができる元気な方（グループでの参加も歓迎） 5名～8名程度
② 応募締切り	5月29日（金）もしくは定員になり次第
③ 宿泊施設	旧長谷小学校を予定
④ 食事形態	旧長谷小学校給食棟での自炊を予定
⑤ その他	体験・作業ができる服装を用意してください。

（7）地域担当者から一言

山口県最東部、標高150mに広がる町です。南の旧岩国市には日本三名橋の錦帯橋もあり、弥栄ダム（弥栄湖）、生見川ダム（山代湖）、小瀬川ダム（真珠湖）のダム湖や溪谷等の自然資源に恵まれています。若者らしく個性的なアイデアを提案・提言してください。

（8）お問合せ先

自治体名 岩国市（美和総合支所）	担当部署 地域振興課 地域振興班
（ふりがな）（なかた）・（しのだ） 担当者氏名 中田・篠田	TEL：0827-96-1111 直通 FAX：0827-96-0415
E-mail： m.nakata.hs115@city.iwakuni.lg.jp t.shinoda.ws410@city.iwakuni.lg.jp	
URL： http://www.city.iwakuni.lg.jp/	
応募宛先 〒740-1231 山口県岩国市美和町生見2126番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-54 : 山口県^{ながとし}長門市

(人口 : 36,737人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陽新幹線 新山口駅又は厚狭駅下車 JR美祢線 長門湯本駅下車
サンデンバス 長門湯本駅一俵山公民館前 20分

(2) 事業実施の目的等

都市の若者の受入や地域住民との交流等を通じて、外部の若者から見た地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行なうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験や集落点検調査の実施
- ・ 公民館活動への参加 (地域住民との交流、スポーツ活動、地域の祭り等)
- ・ 温泉、旅館等での接客体験
- ・ 地域づくりの広報宣伝活動に参加 (情報誌、ホームページ、フェイスブック等)

(4) 受入主体

NPO法人 ゆうゆうグリーン俵山

(5) 受入期間

8月 月上旬 ~ 8月 下旬
14日間程度 (詳細は参加学生と調整)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 受入費用 : 3万円 (宿泊費・食事代・保険代・作業費込み)
①要件	都市と農村の交流 (グリーンツーリズム) に興味のある方
②応募締切り	平成27年 7月 3日 (金) 必着
③宿泊施設	温泉旅館とホームステイの併用
④食事形態	原則として、宿泊先で用意します。(費用負担は受入費用に含む)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

受入地域となる俵山地区は、夏でも涼しく、人も自然もマイナスイオンたっぷりの昭和風情が今も残る温泉地域です。現在、NPO法人が主体となった俵山公園を発足させ、小さな政府を目指して活動中です。地域住民と一緒に考え、あなたのフレッシュな意見を求めています。その他、海上アルプス青海島や金子みすゞ記念館、香月泰男美術館など見所たっぷりです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 山口県 長門市	担当部署 企画総務部 企画政策課課 企画調整係
(ふりがな) おおにし もとい 担当者氏名 大西 基	TEL : 0837-23-1229 (直通) FAX : 0837-22-0135
E-mail : chosei@city.nagato.lg.jp	
URL : http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/ http://tawarayama.jp/	
応募宛先 〒759-4192 山口県長門市東深川1339番地2	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

すおうおおしまちょう
No.-55 : 山口県周防大島町 (人口 : 18,078人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 山陽本線 大島駅よりバス(大島庁舎前下車)で約15分
 山陽自動車道 玖珂 I.Cより車で約30分

(2) 事業実施の目的等

男性移住者と比べ、育児や地域の付き合いなどでストレスを溜めやすいと思われる女性移住者に対して、回答しやすい同性が意識調査を行うことによりサポート体制の構築や、定住促進の充実に図る。

(3) 体験の内容

移住前と後で家計にどのような変化があったのか、田舎暮らしを始めて良かった点、苦労している点などのヒアリング調査を行っていただきます。
 ※インタビューを通じ、地域づくりについて学んでいただけることがたくさんあります。

(4) 受入主体

周防大島町定住促進協議会

(5) 受入期間

7月上旬～ 8月下旬、2月上旬～3月下旬
 3週間～4週間 ※応相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：宿泊施設を受け入れ側で用意 食事代：自己負担 ヒアリング調査に必要な経費として一定額を支給
①用 件	地域づくりに興味のある女性の方(女性移住者へのインタビューのため)
②応募締切り	随時(定員になりましたら締め切ります)
③宿泊施設	周防大島町お試し暮らし住居「島暮ら荘」
④食事形態	自炊していただきますが、近隣に飲食店、コンビニがあります。
⑤そ の 他	2名募集します。

(7) 地域担当者から一言

近年、地方での暮らしを選ぶ若い方が増えています。何故地方を選んだのか、そして実際に暮らしてみてどうなのか、移住者の生の声を聞くことでみなさんの今後に活かして下さい!

(8) お問い合わせ先

自治体名 山口県周防大島町	担当部署 周防大島町定住促進協議会
(ふりがな) とよなが・いずたに 担当者氏名 豊永・泉谷	TEL : 0820-74-1007 FAX : 0820-74-1015
E-mail : info@teiju-suo-oshima.com	
URL : http://teiju-suo-oshima.com/	
応募宛先 〒742-2192 山口県大島郡周防大島町大字小松126-2	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-56 : ^{みなみちょう}**徳島県美波町** (人口: 7, 487人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR牟岐線 日和佐駅下車 徒歩15分

(2) 事業実施の目的等

地域づくりや地域活性化の取り組みに関心を持ち、美波町が取り組む種々の施策に参画を希望する若者を迎え入れ、地域での様々な取り組み、各種交流事業等に関わってもらうことで地域や地域住民の刺激とするほか、体験終了後は美波町のサポーターとして町や地域との良い関係を構築してもらうことを期待します。

(3) 体験の内容

- ・地域の漁業、農業体験
- ・地域での滞在及び地域内各種行事等への参加及び交流
- ・うみがめ博物館でのうみがめ飼育の手伝い
- ・地域主導の都市・地域間の交流事業への参加

(4) 受入主体

美波町

(5) 受入期間

7月下旬～8月下旬での1泊15日を予定
※参加学生の方と相談し日程を決定します。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：美波町負担（最寄りターミナル駅もしくは空港から美波町まで） 宿泊費：美波町負担 食事代：「④食事形態」のとおり
① 要件	・地域づくり、観光振興に興味のある方 ・体験最終日に体験発表会及び、終了後レポートの提出（広報「みなみ」に掲載します。）
② 応募締切り	平成27年6月15日（※当日消印有効） ※別添募集参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送。
③ 宿泊施設	ホームステイ、宿泊施設（国民の宿）、美波町体験活動施設、各地区交流体験施設を予定
④ 食事形態	原則：朝・昼・夕食は自炊等自己負担 ※ホームステイ・国民の宿の朝夕食は提供予定（美波町負担）。
⑤ その他	・申込前に担当までご連絡ください。 ・動きやすく、汚れてもいい服装が必要です。

(7) 地域担当者から一言

NHK 朝の連続テレビ小説『ウェルかめ』の舞台地で、海・山・川の自然豊かな町です。そんな町の新しい地域資源を共に発見しましょう。地域づくり活動も盛んな地域ですので、是非若い方の活力を美波町に！不明な点等があれば事前にご連絡をください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 美波町	担当部署 総務企画課
(ふりがな) ニガチヒゲキ 担当者氏名 西口 英樹	TEL : 0884-77-3611 (直通) FAX : 0884-77-1666
E-mail : somu@town.minami.lg.jp	
URL : http://www.town.minami.tokushima.jp	
応募宛先 〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-57 : 愛媛県宇和島市 (人口 : 81,724 人) H26.12.31 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR伊予吉田駅(いよよしだ)から徒歩5分
 JR宇和島駅からバスで20分

(2) 事業実施の目的等

愛媛県宇和島市はみかんの代表的な産地です。
 農家民泊で田舎暮らしを体験しながら、農家の方とふれあい、みかん農家の体験ができます。
 田舎(地方)に興味のある方、みかん農家に興味のある方、さまざまな交流を求めている方を対象とした事業です。

(3) 体験の内容

みかん農家のお手伝いをさせていただく内容です。
 主に夏は摘果(てきか)、秋は収穫のお手伝いです。
 農家民泊で田舎暮らしを体験できるほか、全国から来る様々な参加者との交流も深まります。

(4) 受入主体

(5) 受入期間

宇和島市役所	夏:7月海の日前後 秋:11月勤労感謝の日前後	3泊4日(短期間での参加も可)
--------	----------------------------	-----------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:自己負担 宿泊費:無料(民泊による農家負担) 食事代:無料(民泊による農家負担)
①要件	18歳以上69歳以下の健康な方
②応募締切り	夏:7月上旬、秋:11月上旬、ただし、定員満了になれば締切
③宿泊施設	受入農家で民泊
④食事形態	農家民泊で朝、昼、晩提供
⑤その他	作業ができる服装、保険証のコピー、靴(汚れても良いもの)等

(7) 地域担当者から一言

宇和島シーズンワークは、H27年で8年目の事業で、今まで延べ300名ほどの方が来られました。
 宇和海を望むみかん山からの眺めは素晴らしく、秋は獲りたてみかん食べ放題です。
 参加者の2割程度は20代以下で若年層の参加者も多くいらっしゃいます。
 市のホームページで内容をご紹介します。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇和島市	担当部署 産業経済部商工観光課観光係
(ふりがな) かたおか ひろし 担当者氏名 片岡 紘志	TEL:0895-24-1111 内線2752 FAX:0895-25-4907
E-mail: kataoka-hiroshi@city.uwajima.lg.jp	
URL: http://www.city.uwajima.ehime.jp/kisaiya/usw/usw.html	
応募宛先 〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町1番地 宇和島市役所 商工観光課 担当 片岡 宛	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-58 : 愛媛県宇和島市蔭淵地区 (人口: 350人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 予讃線・予土線 宇和島駅下車 車で約1時間

(2) 事業実施の目的等

愛媛県内でも認知度が低い蔭淵地域を全国の皆さんに知って頂き、来て頂き、漁労作業を体験頂くことで、愛媛県宇和島市の自然の美しさや基幹産業である養殖漁業を認知してもらい、リピーターや移住希望者を迎え入れることで、人口減少の抑制を目指す。

(3) 体験の内容

3月～ 6月 真珠養殖やイワガキ養殖の作業補助 (外殻の付着物除去、養殖カゴの運搬など)
 7月～12月 同上 及びガンガゼ駆除、刺し網

(4) 受入主体

宇和島市役所
 (担当: 蔭淵地区地域おこし協力隊 原口)

(5) 受入期間

通年受け入れ可能
 3泊4日を基本とする

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: JR 宇和島駅からは送迎可 宿泊費: 無料 食事代: 無料
①要件	田舎が好き、海が好き、人とのふれあいが好きな方
②応募締切り	参加希望日の1週間前まで。 電話かメールによる申込み
③宿泊施設	受入漁業者宅への民泊
④食事形態	漁労作業をしていただく代わりに、受入漁業者が提供致します。
⑤その他	洗面用具、タオル、汚れてもいい服装を持参ください。 長靴や作業着はこちらで用意します。

(7) 地域担当者から一言

宇和島市蔭淵地区は人口約350人の小さな漁村です。
 小さいながらも頑張っている養殖漁業の現場で漁業者と一緒に漁労作業をし、受入漁業者にとって少しでも助けになるよう頑張っていたきたいと思っています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇和島市	担当部署 総務部企画情報課企画係
(ふりがな) はらぐち だいすけ 担当者氏名 原口 大輔	TEL: 0895-63-0358 (直通) FAX: 0895-63-0207
E-mail: haraguchi-daisuke@city.uwajima.lg.jp	
URL: http://www.city.uwajima.ehime.jp/chikatsu/kyouryokutai.html	
応募宛先 〒798-0211 宇和島市蔭淵 1639 蔭淵公民館	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)
しまんとし

No.-59 : 高知県四万十市 (人口: 35,635 人のうち西土佐地域 3,146 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

最寄り駅: JR 予土線江川崎駅
高知駅から窪川駅=予土線に乗り換え=窪川駅から江川崎駅 (計 2 時間半)

(2) 事業実施の目的等

高知は日本一の森林県。特に四万十市西土佐地域は 92% が山で、最後の清流四万十川の中流域に 30 の集落が点在する渓谷型の山村集落です。この 50 年間で人口は半数ほどに減少し、若者の流出、住民の高齢化、土地・空き家の荒廃など問題が多くあります。今回はその西土佐の集落で、ありのままの田舎暮らしを体験するツアーを開催します。四万十の自然・人・生活をぎゅっと詰め込んだ 3 泊 4 日でどっぷりと四万十の山暮らしを体感してみませんか？

(3) 体験の内容

- ・農家さんのお手伝い(9 月米ナス等、10 月四万十栗、11 月ゆず、3 月なばな)
- ・地域行事のお手伝い(お祭りやイベントのお手伝い、里山保全活動、耕作放棄地の開墾など)
- ・山の暮らしワークショップ(こんにやく豆腐づくり、わら細工、つるかごづくりなど)
- ・自由時間あり(四万十川の川遊び、カヌー体験、地域散策など自由に過ごせます)

(4) 受入主体

四万十市

(5) 受入期間

3 月 27 日(金)~3 月 30 日(月)の 3 泊 4 日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 参加費: 15,000 円(宿泊費・食費・体験料込)
① 要件	四万十の山暮らしに興味のある 18 歳以上の健康的な男女 10 名
② 応募締切り	平成 27 年 3 月 20 日(金)
③ 宿泊施設	民泊(農家さんのお宅にお泊り)
④ 食事形態	主に民泊先(別途交流会や食事会を予定しています)
⑤ その他	宿泊に必要なもの、作業のできる服装、靴、着替え、帽子、雨具など

(7) 地域担当者から一言

昨年 41℃ を記録して話題になった西土佐地域からインターンシップの受入れをします。比較的過ごしやすい時期の受け入れで、活動が盛んな地域づくり団体と連携して受け入れをサポートします。日程や内容のご相談など、分からないことがあればお気軽にお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 四万十市西土佐総合支所	担当部署 地域企画課
(ふりがな) みき かおり 担当者氏名 三木 香織	TEL: 0880-52-1111 FAX: 0880-52-2124
E-mail: miki@city.shimanto.lg.jp	
URL: http://www.city.shimanto.lg.jp	
応募宛先 〒787-1601 高知県四万十市西土佐江川崎 2445-2	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-60 : ふくおかけんやながわし **福岡県柳川市** (人口 : 69,491 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

西鉄天神福岡駅から特急で柳川駅下車 (約 50 分) 西鉄バス又は堀川バス市役所前バス停

(2) 事業実施の目的等

- ・若い人の意見を取り入れたい。都市住民なら尚更よい。
- ・都市からの移住のきっかけづくり
- ・この事業を通じ若手の受け入れを行うことで、本市の自然や産業を生かしインターシップの可能性を探りたい。
- ・若者が地域で動くことで刺激を与えたい。

(3) 体験の内容

農業体験 (イチゴ、アスパラ等収穫体験など各種体験)、船頭体験 (本市の観光資源の1つである川下り船頭体験)、のりすき体験、しょうゆ・みそづくり体験 等

(4) 受入主体

柳川市

(5) 受入期間

7月中旬～9月予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：市負担 食事代：自己負担
①要件	移住を検討している都市住民
②応募締切り	7月上旬予定
③宿泊施設	柳川市体験居住交流施設「もえもん家」
④食事形態	自己負担、自炊可
⑤その他	情報発信できる機器類 (パソコンやタブレットなど)

(7) 地域担当者から一言

柳川独特のゆったりとした時間を体験しに、おいでませ!!

(8) お問い合わせ先

自治体名 福岡県柳川市	担当部署 総務部 企画課 企画係 (グループ)
(ふりがな) おおつぼ とおる 担当者氏名 大坪 亨	TEL : 0944-77-8423 (直通) FAX : 0944-74-5520
E-mail : kikaku@city.yanagawa.lg.jp	
URL : http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/	
応募宛先 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87 番地 1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-6 1 : ながさきけん つしまし
長崎県 対馬市 (人口 : 32,954 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・博多港からフェリーで5時間50分(比田勝航路)～比田勝港から車で45分
- ・韓国釜山港からジェットフォイルで1時間10分(比田勝航路)～比田勝港から車で45分
- ・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で35分～対馬空港から車で1時間10分

(2) 事業実施の目的等

「学びの力を地域に、地域の力を学びに」。地域おこしへの理解促進と地域おこしの担い手育成を行うとともに、参加者との交流・実践作業を通じて対馬の地域活性化を図るため、①中長期インターン、②短期合宿「島おこし実践塾」、③研究フィールド活動、を実施します。

(3) 体験の内容

域学連携コーディネーターによる調整・サポート、地域おこしに関する現場当事者や地域関係者の指導のもと、農地再生や古民家再生活動、職業体験等を通じて、地域再生や環境保全に関する課題、現場で必要なノウハウ・スキルを学びます。また、参加希望者と地域側のニーズを調整しながら、「実践型プロジェクトの推進員」としてのインターン受入れや、卒業論文、修士論文、博士論文など対馬を対象とした調査研究フィールドワーカーの受入れも実施します。

(4) 受入主体

対馬市

(5) 受入期間

平成27年8月～12月頃

(※プログラムにより受入期間や滞在日数は異なります)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担(※島内交通費は主催者負担) 宿泊費：主催者負担(予定) 食事・保険等：自己負担 ※講師代・指導料等は主催者負担
①要件	大学生、大学院生、社会人等で、将来、自然や文化が色濃く残る地域社会への移住、自然環境保全や地域振興など、社会貢献度が高く使命感に溢れる仕事を希望する方、ソーシャル・ビジネスに関心のある方を受け入れます
②応募締切り	平成27年4月～7月中に募集予定
③宿泊施設	空き家等(インターン・フィールド研究)、民家等へのホームステイ(島おこし実践塾)を予定
④食事形態	インターン・フィールド研究は3食自炊、島おこし実践塾は地域の方々による炊きだし弁当等
⑤その他	平成27年度の募集プログラムの詳細(募集要項)は4～7月中に対馬市域学連携ポータルサイトに掲載します。福岡・東京・京都での募集説明会も予定。

(7) 地域担当者から一言

離島振興や地域振興に関心を持ち、現場で自ら学び取る熱意のある方のご応募をお待ちしております。「将来的な先進事例の見学者」ではなく、「先進事例を創り上げる1人の主体・当事者」として対馬の地域おこし活動にご参画ください。「社会に必要とされる人財になりたい」。そうした学生の皆さんの熱い声・希望に応えます。

(8) お問い合わせ先

自治体名：対馬市	担当部署：しまづくり戦略本部 新政策推進課
(ふりがな) <small>まえだつよし</small> 担当者氏名 域学連携担当 前田 剛	TEL：0920-53-6111(代表) 内線：457 FAX：0920-53-6112(代表)
E-mail：t-maeda@city-tsushima.jp	
URL：域学連携ポータルサイト http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/	
応募宛先 〒817-8510 長崎県対馬市厳原町国分1441	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. - 6 2 : 熊本県宇城市 (人口: 約 62, 000 人 平成 26 年 12 月末現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 鹿兒島線 熊本駅 又は 熊本空港から自家用車で約 40 分～50 分
最寄りの JR 鹿兒島線 松橋駅から徒歩 20 分、タクシーで約 5 分

(2) 事業実施の目的等

若い世代に“市民手づくり”のイベントを体験できる機会を提供する事で、「行政頼りではなく、地域の課題は自分たちで解決する」という意識の醸成や人の繋がりを作り、地域の中にどんどん入って行き、活動する楽しさを学んで欲しいため。

また、情報発信やイベントを盛り上げる手段を一緒に語り合う事で、自分たちのイベント自体も、更に発展していきたいと考えたため。

(3) 体験の内容

- ・会場に展示する「竹灯ろう」製作体験 (竹加工・装飾)
- ・イベントスタッフ参加 (高校生製作のステージや子どもたち製作の灯籠の設置、運搬、片づけ)
- ・次回開催時のアイデアを一緒に企画・立案 (次年度にアイデアを活かした取組を実施予定)
- ・情報発信についてのワークショップ開催

(4) 受入主体

(5) 受入期間

うきあかり実行委員会

10 月～11 月にかけての土日 (1泊2日 ~ 2泊3日 程度)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 (民泊) ※各家に分泊となる場合もあります。 食事代: 無料
①要件	住民と一緒にイベントを楽しめる人。「こんなことをすれば面白いのに」、「こんなこと出来れば良いなあ」という思いを持っている人。
②応募締切り	10 月中旬頃までに連絡
③宿泊施設	宇城市内のうきあかり実行委員会メンバー宅での民泊
④食事形態	民泊先で、家族と一緒に自炊。朝食は自炊又はお弁当。
⑤その他	市民手づくりイベント「うきあかり」を一緒に盛り上げる人をお待ちしています。

(7) 地域担当者から一言

「うきあかり」は、本市の各地域づくり団体や保育園等の教育機関、地元高校生ボランティアを中心に「市民手づくり」で開催しているイベントで、今年で 8 回目を迎えます。5 町合併で誕生した宇城市の旧町の壁を無くそうと、地元住民有志で始まった本イベントは、着実に本市の秋イベントとして定着して来ています。数千点の手作り灯ろう展示だけでなく、住民自身が出演者となるステージイベントや学生主体のファッションショー、飲食関係の出店もあり、大変な賑わいを見せています。地元住民が自ら作る地域活性化・一体化の為の取組をぜひ一緒に体験して下さい!一つの団体だけでなく、各種団体が集まった本イベントだからこそ、学べる物が多々あると思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部 地域振興課 地域振興係
(ふりがな) ちばさき すすむ 担当者氏名 千葉崎 達	TEL: 0964-32-1906 (直通) FAX: 0964-32-2222
E-mail: chibasaki-susumu@city.uki.lg.jp	
URL: http://www.city.uki.kumamoto.jp/ (宇城市役所) https://ja-jp.facebook.com/Ukiakari (うきあかり)	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野 8 5 宇城市役所 企画部 地域振興課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

うきしとよのまち

No.-63 : 熊本県宇城市豊野町 (町: 約4,700人 宇城市: 約62,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

受入主体の豊野町:

JR鹿児島線 熊本駅 又は 熊本空港から自家用車で約40分~50分

最寄りのJR鹿児島線 松橋駅 (熊本駅~松橋駅: 約15分) からタクシーで約15分

(2) 事業実施の目的等

1. 若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する。
2. 地域と若者の双方がそれぞれの目的に応じたそれぞれの成果を獲得する。
3. 事業への参加を契機とした今後の地域の活性化を図っていく。

(3) 体験の内容

- ・ 移住者と地元住民や子どもたちとの交流イベントへのスタッフ参加
(タケノコ掘り体験、ソーメン流し・竹箸作り体験、餅つき・ミニ門松作り体験)
子どもたちと一緒に、竹切りから、小刀を持っての加工も行います。
- ・ 既存移住者や受入側の地元住民双方からの移住談義
- ・ 移住者の経験や「外からの目」を活かした地域活性化のためのワークショップ参加

(4) 受入主体

(5) 受入期間

地域づくり団体「うきのわ」	①3月下旬~4月上旬: タケノコ掘り (1泊2日) ②7月下旬~8月上旬: ソーメン流し、竹箸作り (1泊2日) ③12月下旬: 餅つき体験、ミニ門松作り体験 (1泊2日)
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 原則無料 (布団レンタル代金が必要となる場合があります。) 食事代: 自己負担 (料理体験等の費用。)
①要件	地域住民・移住者・子どもたちと一緒に元気に活動し、語り合える人
②応募締切り	①平成27年7月中旬 ②平成27年12月中旬 ③平成28年3月中旬 (特に締切りは設けないが、開催日を確定するため2週間程度前には要連絡)
③宿泊施設	熊本県宇城市豊野町 「光照寺」(寺泊になります)
④食事形態	地元住民と一緒に、地域の伝統料理等を体験し、自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

「うきのわ(宇城の“輪”)」は、震災後移住者して来た人を支援したいと、地元住民が中心となり昨年2月に発足した団体です。移住者の今までの生活や移住経緯が、田舎住民には理解できず、移住者同士で孤立するケースもあり得るため、「うきのわ」は地域住民と移住者の交流を通じ、第2の故郷として地元で根付いてもらう活動を続けて来ました。昨年は、子どもたちと地元の名産「竹」をテーマにした取組を年間通じて実施し、最近では市内のALTの先生や海外からの留学生等も呼んでの国際交流体験も一緒に行っています。空き家改修補助金や移住助成金だけではない、地域住民が主体となった移住・交流に向けた取組を、ぜひ体験してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部 地域振興課 地域振興係
(ふりがな) ちばさき すすむ 担当者氏名 千葉崎 達	TEL: 0964-32-1906 (直通) FAX: 0964-32-2222
E-mail: chibasaki-susumu@city.uki.lg.jp	
URL: http://www.city.uki.kumamoto.jp/ (宇城市役所) ja-jp.facebook.com/pages/うきのわ/403718689724495 (うきのわ)	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 地域振興課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

うきしおがわまち

No.-64 : 熊本県宇城市小川町 (町: 13,000人 宇城市: 約62,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR鹿児島線 小川駅 (JR熊本駅~小川駅: 20分) からタクシーで10分 or 徒歩で40分
熊本空港から自家用車で、約40分

(2) 事業実施の目的等

- ・高齢化し、寂しくなりつつある商店街に若者の新しい息吹を入れる。
若い世代や他所の方のセンスや考え方を、今後の地域づくりに生かし、本事業以後も進展状況等の相談・連絡を取られるような繋がりを作る。
- ・廃屋を改修した古民家「塩屋」がスタッフの高齢化もあり、維持管理が難しくなっているため、若い世代と一緒に、次の世代へ繋げて行く取組を行う。

(3) 体験の内容

- ・建築関連の科…築108年になる商家(古民家)の手入れと修復体験、地元住民や子どもたちとの地域づくり談義
 - ・その他の学科…築108年になる商家(古民家)の手入れと地元体験の改善アドバイス、地元住民や子どもたちとの地域づくり談義
- ※古民家「塩屋」: 明治39年(1906年)に建てられた土蔵白壁の商家

(4) 受入主体

(5) 受入期間

風の館・塩屋	通年 ※建築関連の科…1週間~2週間 ※その他の学科…3泊以上 ※3名以上募集があった時点で受入
--------	-----------------------------------------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 自己負担
① 要件	・建築関連の科…古民家に興味があり簡単な修繕を楽しめる人 ・その他の学科…まちおこしや古民家に興味がある人 ・使った物は綺麗に片づけや整理整頓ができて、挨拶などがきちんとできる人
② 応募締切り	随時。(簡単な自己PRをメールにて送って下さい。)
③ 宿泊施設	風の館・塩屋 (古民家で寝泊まりします)
④ 食事形態	・完全自炊となります。冷蔵庫、ガス、レンジ、食器などあり。 ・初日と最終日夜は、地元のお母さんの手料理でおもてなし。
⑤ その他	火鉢など、昔ながらの暖房器具はありますが、冬場は寒いので温かい恰好で。 入浴は、近所の温泉施設(徒歩約20分)利用。

(7) 地域担当者から一言

風の館・塩屋は、平成10年に地元小川の女性グループ「風の会」が改修した古民家です。風の会はこの蘇った塩屋を中心に、地域のボランティアや商工会と地域全体の振興を考えたイベントや活動を続けて来ました。現在では、元「よそもの」だった若い移住者が、塩屋に惹かれ、更に塩屋を元気にしようと活動を広げています。「古民家改修」・「地域づくり」・「田舎暮らし」このような言葉に惹かれる方は、ぜひ一度足を運んでみてください。元気で、素敵なお母さんたちが新たな出会いを楽しみに待っています!

(8) お問い合わせ先

自治体名: 宇城市	担当部署: 企画部 地域振興課 地域振興係
(ふりがな) ちばさき すすむ 担当者氏名 千葉崎 達	TEL: 0964-32-1906 (直通) FAX: 0964-32-2222
E-mail: chibasaki-susumu@city.uki.lg.jp	
URL: http://www.city.uki.kumamoto.jp/ (宇城市役所) http://www.geocities.jp/kazenoyakata_408/index.html (風の館・塩屋)	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 地域振興課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-65 : くまもとけんくまぐん にしきまち
熊本県球磨郡 錦町 (人口: 11, 247人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・JR九州人吉駅より車で20分 (人吉駅から球磨川鉄道一武駅下車 一武駅より車で5分)
- ・高速バス人吉ICより車で20分

(2) 事業実施の目的等

まずは錦町のことを知って、体験交流を楽しんでほしい。
体験交流を通じ、錦町について客観的に若者の視点で率直な意見を出してもらい、今後の地域活性化策・住みよいまちづくりのヒントを見出したい。

(3) 体験の内容

- ①農業体験(米・梨・桃・筍・柿・栗・野菜の収穫体験や酪農体験など、季節ごとに体験メニューが変わります) ※体験料が発生するものもあります。
- ②野菜や果物などを使った無添加の加工品作り(ジャム・かりんとう等)
- ③ツクシイバラ保存活動(5月下旬～)
- ④竹灯籠を使った“水あかり”イベント手伝い(11月頃)
- ⑤郷土料理体験(つぼん汁・いきなり団子・饅頭など)
- ⑥持参したカメラで町の気になるモノや場所を撮り、体験レポートと一緒に報告してもらいます。

(4) 受入主体

錦町
(協力: 錦町グリーンツーリズム研究会)

(5) 受入期間

通年(2日間程度)
※受入れ時期により体験メニューが異なります。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料(予定) 食事代: 無料(予定)
①要件	募集人数: 一度につき3名まで 大学生・大学院生で、性別不問。地域の人との交流ができ、好奇心旺盛な人。
②応募締切り	随時受付 (ただし、民泊先や受入先との調整に時間を要しますので、余裕をもって応募して下さい。)
③宿泊施設	農家民泊「平岩の和ちゃん家」
④食事形態	民泊先で提供
⑤その他	持参: 作業のできる服装・靴、エプロン、カメラ(デジカメや携帯電話可)

(7) 地域担当者から一言

「錦町」と初めて聞いた、そういう若者を求めています。まずは錦町のことを知るために様々な体験を楽しんで、地域の人と交流して、最後にあなたが感じた率直な意見を聞かせてください。まずは、あなたが田舎で何をやりたいのか教えてください。素敵な出会いを待っています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 錦町	担当部署 企画観光課 企画観光・商工係
(ふりがな) しんかわ ちふみ 担当者氏名 新川 千文	TEL: 0966-38-4419(直通) FAX: 0966-38-1575
E-mail: c-sinkawa@town.kumamoto-nishiki.lg.jp	
URL: http://www.nishiki-machi.com/	
応募宛先 〒868-0392 熊本県球磨郡錦町大字一武1587番地	錦町役場 企画観光課

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-66 : 大分県 大分市

(人口 : 478,792 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

[空]東京(羽田)・大阪(伊丹)・名古屋(中部国際)→大分空港。市中心部までエアライナーで60分
[電車]JR大分駅下車。日豊本線・博多から約2時間。豊肥本線・熊本から約3時間。久大本線・久留米から約2時間20分[高速バス]博多バスターミナルから約2時間30分。[車]大分自動車道大分IC下車 市中心部まで約10分。

(2) 事業実施の目的等

都市部と農村部との農業を通じた交流活動による地域の活性化やUJIターンのきっかけづくり。

(3) 体験の内容

受入れ農家における農作業実施。作業内容は農作業全般(シイタケのコマ打ち・収穫、ワラ立て、ワラ運び、野菜の栽培管理、柑橘類の収穫・剪定作業ほか)。

(4) 受入主体

大分市(受入れ農家をあっせん)

(5) 受入期間

随時(応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担(JR大分駅から現地まで送迎可能です) 宿泊費：原則無料 食事代：自炊分は自己負担
①要件	18歳以上、性別問わず。ボランティアとして援農活動が出来る農業や農村に興味のある健康な人
②応募締切り	随時受付
③宿泊施設	公共宿泊施設(旧中学校施設・4人以上で利用可)、農家民泊等
④食事形態	作業時間内の食事及び農家民泊の場合は受入れ農家が提供。公共宿泊施設に宿泊する場合は自炊となります。
⑤その他	時期、農家の作業状況等によっては受入れ出来ない場合があります。

(7) 地域担当者から一言

農村地域では過疎化や高齢化の進行による農業の担い手不足や集落機能の低下が問題となっています。都市部の方々にボランティアとして農作業のお手伝いをしていただくことで、農家の負担軽減や地域の活性化につながることを、大分市へのUJIターンのきっかけとなることを期待しています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大分市	担当部署 商工農政部 産業振興課 地域産業育成担当班
(ふりがな) さとう のぶ 担当者氏名 佐藤 忍	TEL : 097-537-7025 (直通) FAX : 097-533-6117
E-mail : sangyosinko2@city.oita.oita.jp	
URL : http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1389338556916/index.html	
応募宛先 〒870-8504 大分市 荷揚町2番31号 大分市役所 産業振興課 援農かせ隊活動推進事業担当者 宛	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-67 : 鹿児島県出水(いずみ)市 (人口: 55,348人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR九州出水駅から事務局(市役所)まで徒歩10分
 ※ 公共交通機関利用の場合、民泊先家庭の車による送迎可能

(2) 事業実施の目的等

- ・ 農家と若者との交流による地域活性化
- ・ 出水市の魅力発信

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験(宿泊先により提供メニューが異なります)
- ・ 出水市内武家屋敷群めぐり
- ・ 出水市内戦争遺跡めぐり

(4) 受入主体

出水市元気再生創出協議会(事務局: 市役所)

(5) 受入期間

年間通して受入可能

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 出水市内までは参加者負担 宿泊費: 7,600円/泊(税込) 食事代: 夕食・朝食込(昼食希望の場合、1,000円追加)
①要件	田舎の生活を体験してみたい方
②応募締切り	年中通して募集しております。
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	宿泊先家庭にて提供
⑤その他	農作業体験がありますので汚れてもよい服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

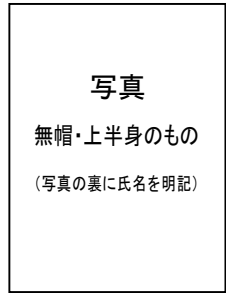
関西地方及び中国地方の中学・高校修学旅行先として好評いただいている「出水民泊」は、一般の方の申込みも受け付けております。ぜひとも体験していただき、出水市の良さを体感してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 出水市	担当部署 産業振興部 観光交流課 交流・定住促進係
(ふりがな) 担当者氏名 植木 賢二(うえき けんじ)	TEL: 0996-63-4059(直通) FAX: 0996-63-1331
E-mail: kanko_c@city.izumi.kagoshima.jp	
URL: http://www.izumi-taiken.com/	
応募宛先 〒899-0292 鹿児島県出水市緑町1番3号 出水市観光交流課(植木宛)	

平成27年 月 日 現在

募集地域参加申込書



1. お名前：^{ふりがな} _____ (男・女)
2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地： _____)
* 都道府県で記入

3. (大学、大学院、専門学校等に在学の場合に記入)
学校、学部名： _____ () 年
- * 学部、学科、専攻などを明記してください (在学中の方は学年も記入してください)。

研究テーマ等： _____

* 卒論または現在研究中のテーマがある場合は記入してください。

4. 資格・特技・趣味など (選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

5. 自己PR

6. 住 所
〒 _____

連絡先：選考などに関して、募集地域などから連絡を行う場合があります。
(『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望するNo.自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

電話(自宅)： _____ Eメール(PC)： _____

電話(携帯)： _____ Eメール(携帯)： _____

◆小論文記入用紙◆

テーマ：①インターン事業に期待すること ②地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名： _____

① インターン事業に期待すること

②地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

*各テーマ400字程度でまとめてください。
*できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）

連絡先

国土交通省 国土政策局 地方振興課

〒100-8918 千代田区霞ヶ関2-1-3

電話：03-5253-8404 FAX：03-5253-1588

URL：http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

